

平成 30 年度

これからのまちづくりのための
市民意識調査報告書

平成 31 年 3 月

燕市企画財政部企画財政課

目 次

	頁
1. 調査の概要	1
(1) 目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収結果	1
(4) 報告書の見方	1
2. 集計結果	2
問1 (ア) 性別	2
(イ) 年齢	2
(ウ) お住まいの地区（小学校区）	3
(エ) 居住形態	3
(オ) 職業	4
通勤・通学先	4
(カ) 燕市居住年数	5
問2 住みやすさ	5
問3 居住意向	6
市外に引っ越ししたい理由	7
問4 まちづくりに対する満足度と重要度	8
問5 将来の悩みや不安	10
問6 特色や資源、魅力や自慢できること	11
問7 行政サービスと費用負担のあり方	13
問8 まちづくり基本条例の認知度	13
問9 自治会や各種団体への参加	14
問10 参加したことがある団体の活動	14
問11 参加したことがない理由	15
問12 利用している情報媒体	16
3. 経年変化	17

1. 調査の概要

(1) 目的

本調査は、「第2次燕市総合計画」の進行管理に当たり、市民が日頃まちづくりや身近な生活環境についてどのように考えているのかを把握するとともに、各施策の満足度、重要度を明らかにすることにより、施策の優先順位の検討等に資することを目的とする。

(2) 調査方法

本調査の方法は、下記のとおりである。

項目	内容
調査地域	燕市全域
調査対象者	燕市内在住の満18歳以上の男女個人 (平成31年1月現在)
標本数	2,000人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
配付・回収方法	郵送配付、郵送回収・ウェブ回答
配付・回収期間	平成31年2月14日(木)～平成31年2月26日(火)

(3) 回収結果

有効回収数：819票（有効回収率41.0%）

(4) 報告書の見方

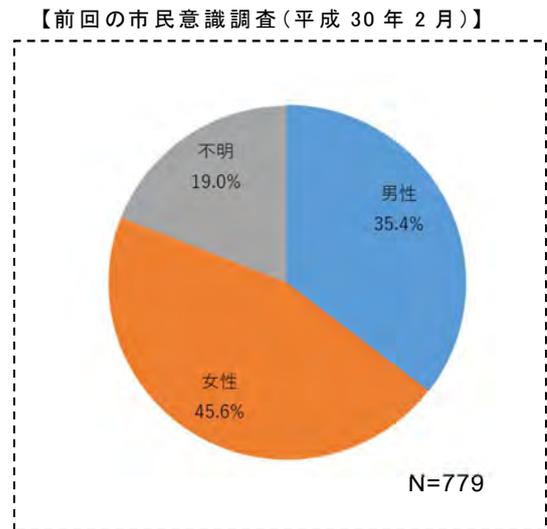
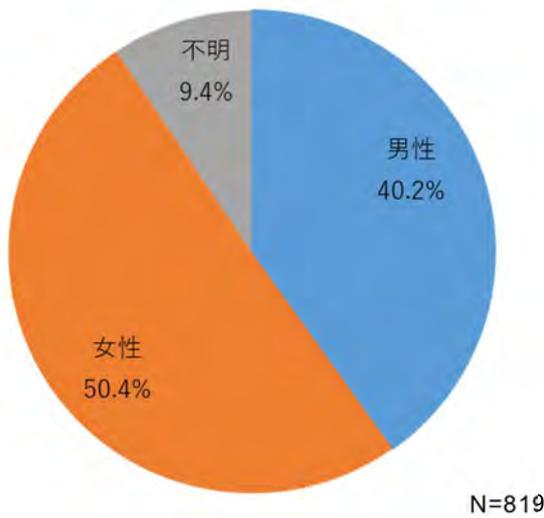
- ①回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- ②複数回答の設問の場合、全ての回答割合を合計すると100%を超える場合がある。
- ③基数となるべき実数(N)は、特に記述のない限り、有効回収数である。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ⑤前回の市民意識調査と設問、選択肢が変更になっているものがある。

2. 集計結果

問1 あなたご自身についておたずねします。

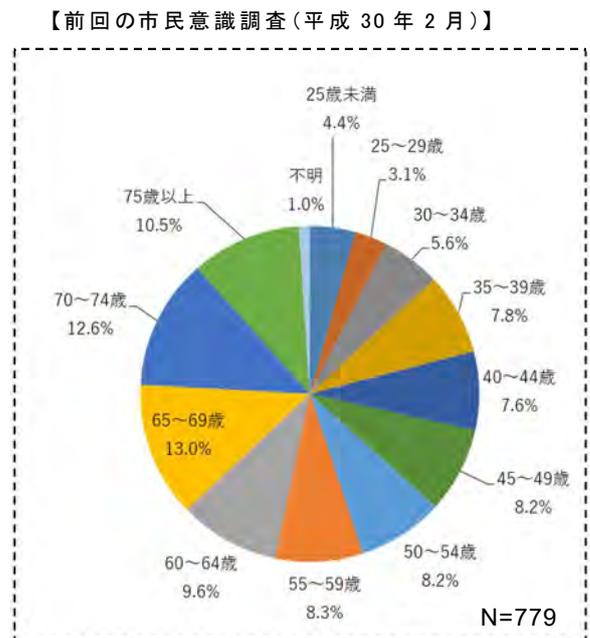
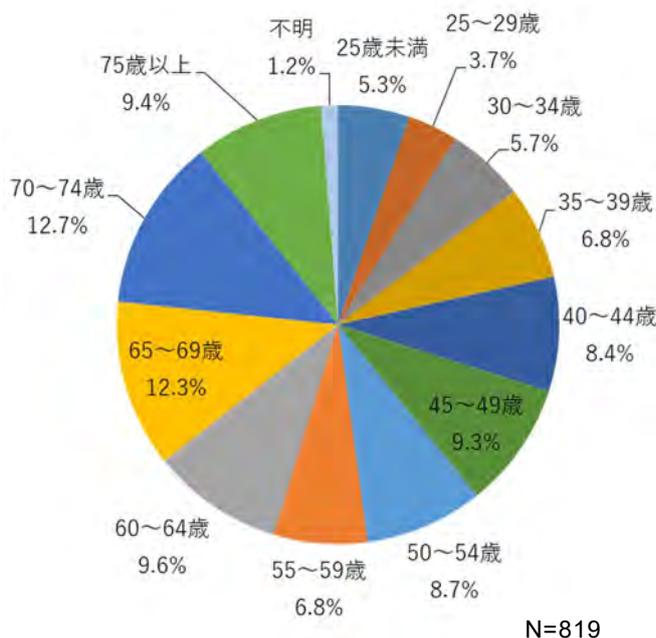
(ア) あなたがとらえているあなたの性別は

「男性」が40.2%、「女性」が50.4%であり、「不明（未回答）」が昨年と比較して大きく減少した。



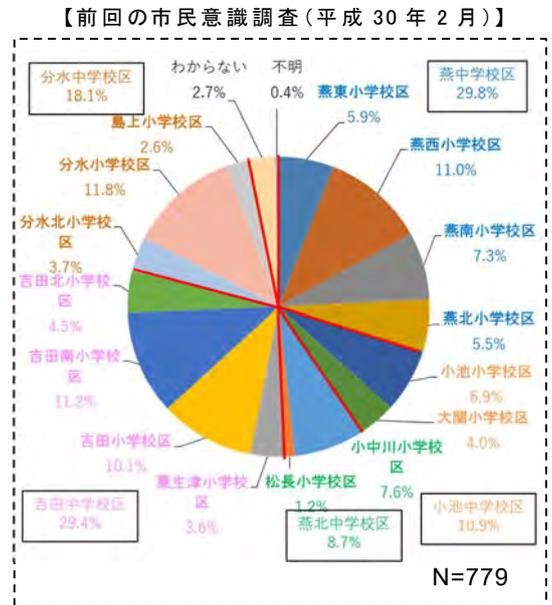
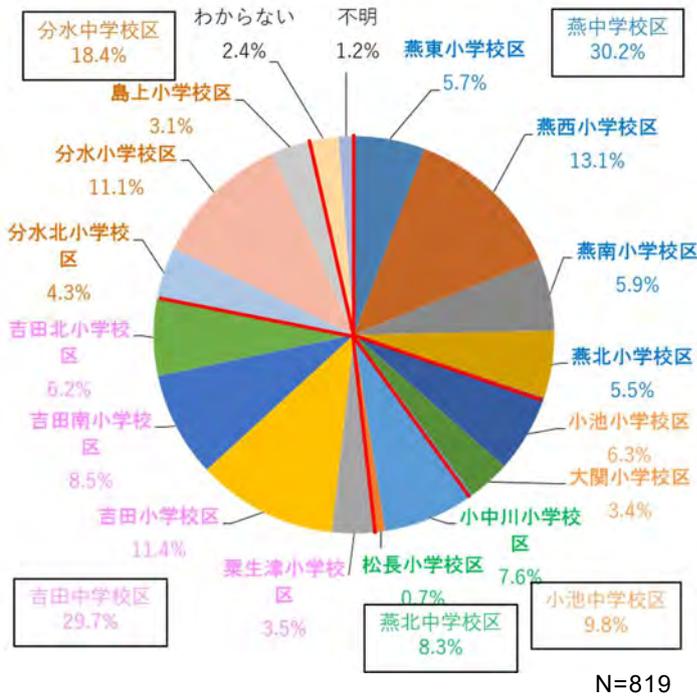
(イ) あなたの年齢は

年齢別の割合は、「70～74歳」が最も多く12.7%、次いで「65～69歳」が12.3%、「60～64歳」が9.6%となっている。昨年との比較では、「40～44歳」が1.2%の増加、「55～59歳」が1.5%の減少である。



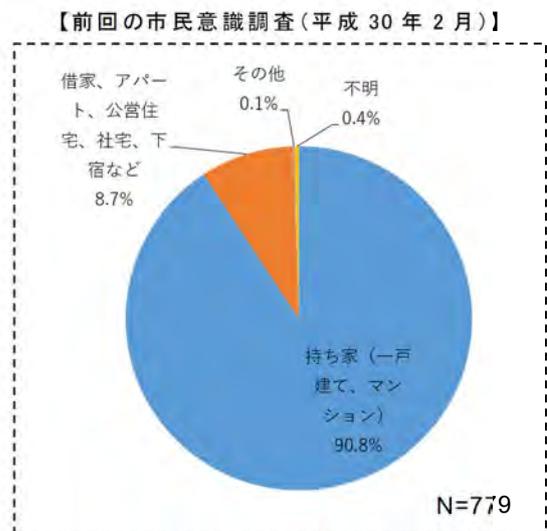
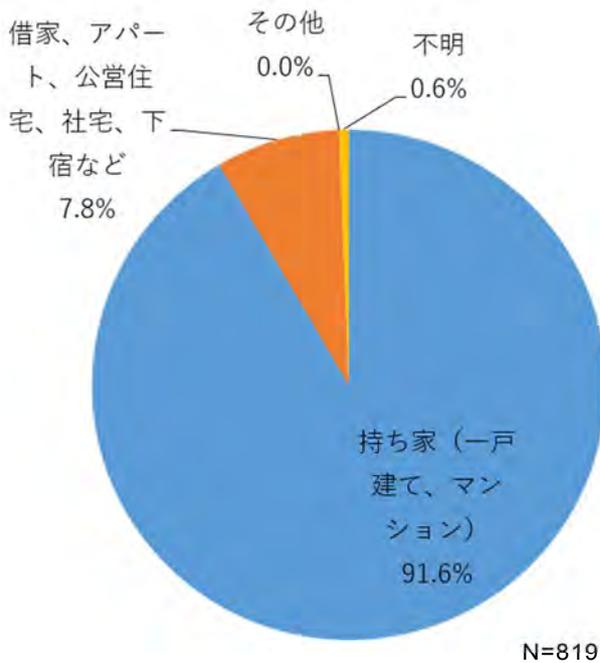
(ウ) あなたのお住まいの地区（小学校区）は

居住地域別では、「燕西小学校区」が最も多く 13.1%、次いで「吉田小学校区」が 11.4%、「分水小学校区」が 11.1%となっている。



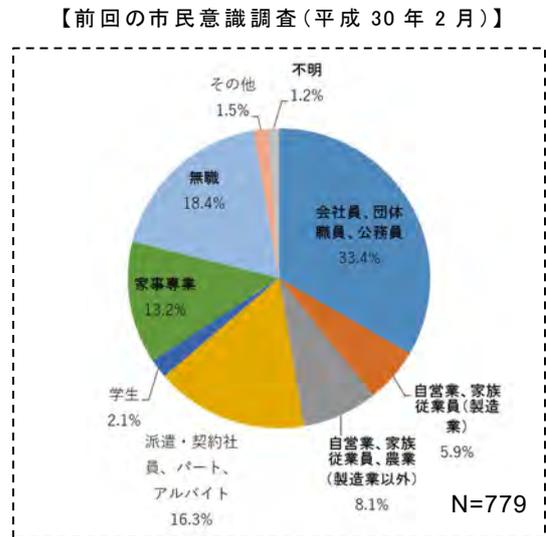
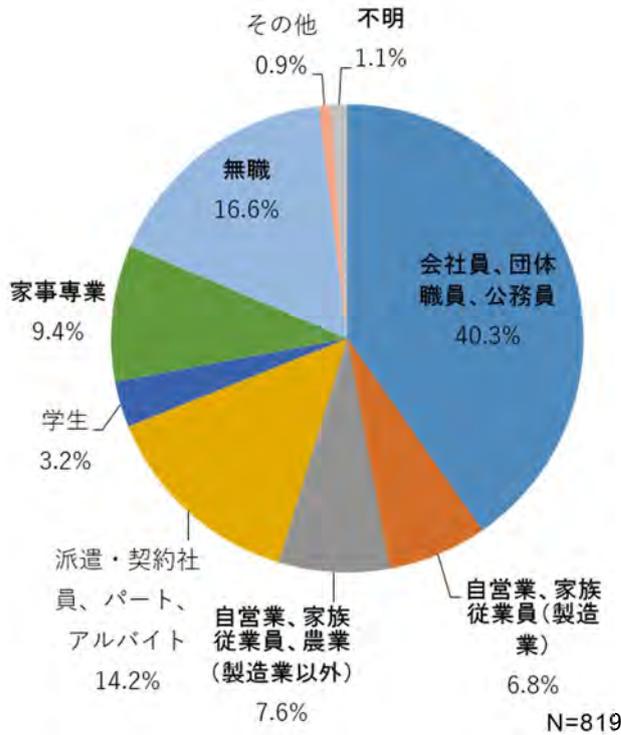
(エ) あなたのお住まいの形態は

「持ち家（一戸建て、マンション）」が 91.6%、「借家、アパート、公営住宅、社宅、下宿など」が 7.8%となっている。



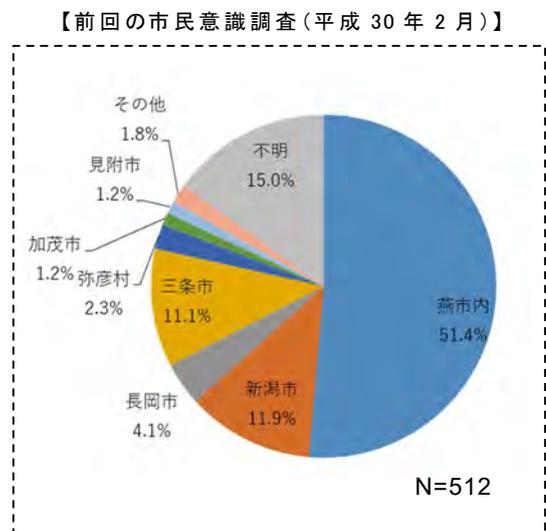
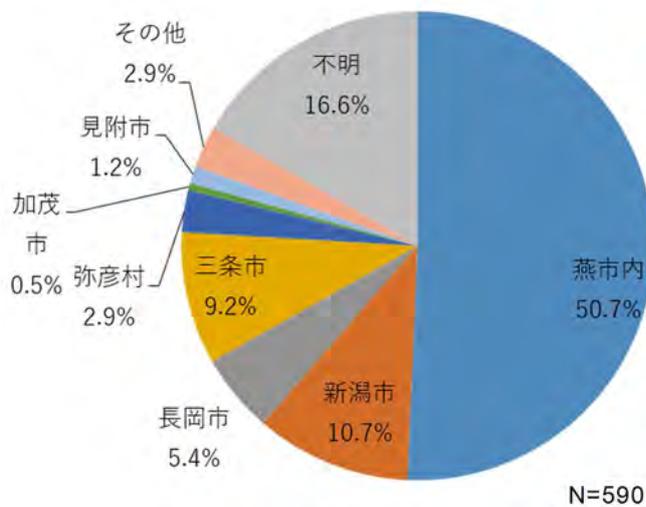
(オ) あなたのご職業は

「会社員、団体職員、公務員」が最も多く 40.3%、次いで「無職」が 16.6%、「派遣・契約社員、パート、アルバイト」が 14.2%となっている。「会社員、団体職員、公務員」は、昨年と比較して 6.9%増加した。



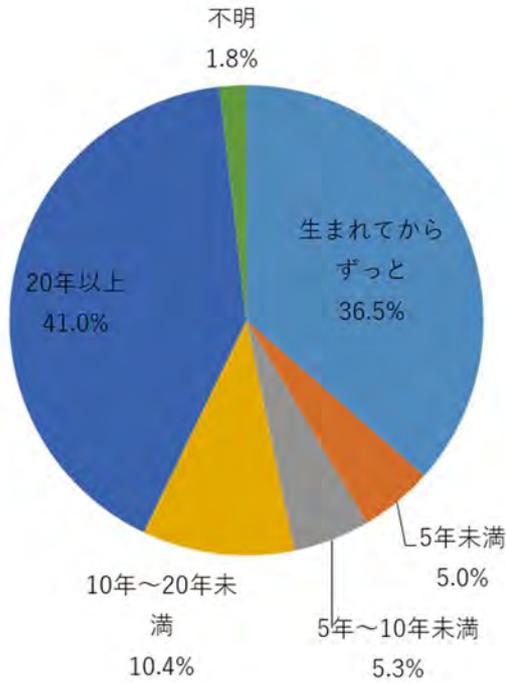
通勤・通学先は

「燕市内」が最も多く 50.7%、次いで「新潟市」が 10.7%、「三条市」が 9.2%、「長岡市」が 5.4%となっている。

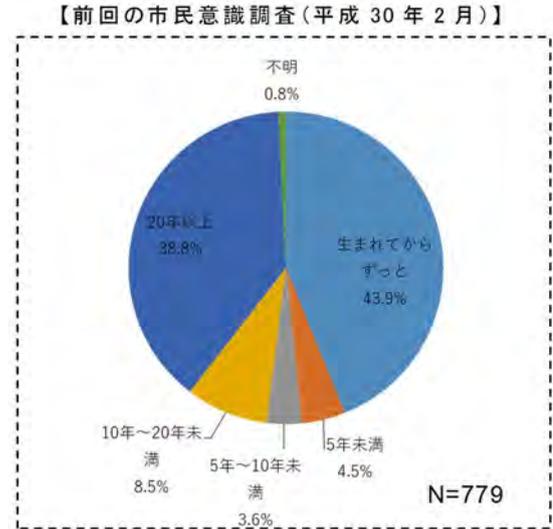


(カ) あなたが燕市に住みはじめてからの年数は

「20年以上」が最も多く 41.0%、次いで「生まれてからずっと」が 36.5%となっている。この2つの選択肢で約8割を占めている。

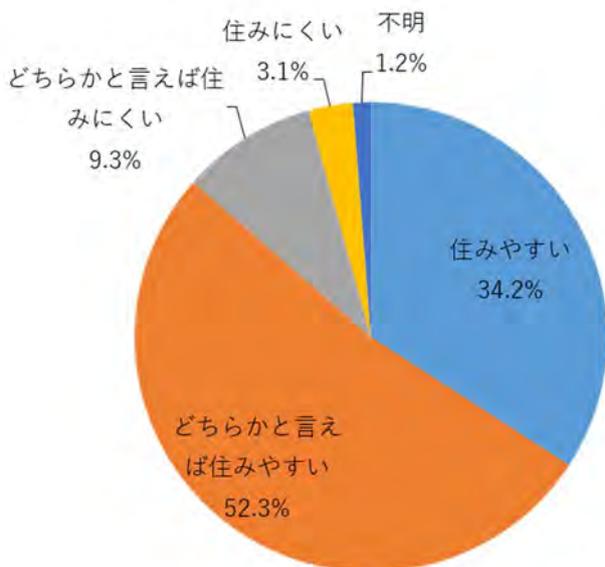


N=819

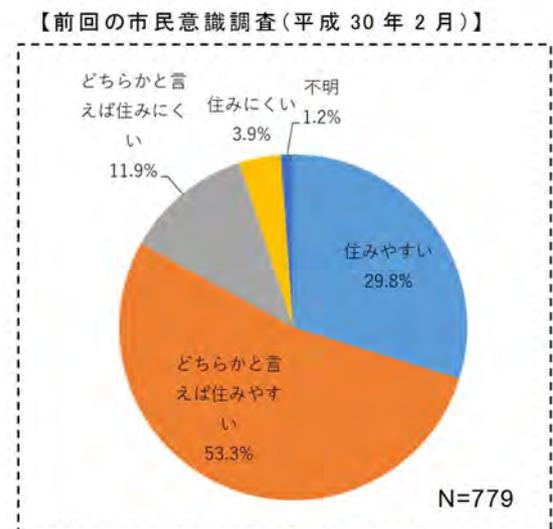


問2 あなたにとって、燕市は住みやすいまちですか。

「住みやすい」が 34.2%、「どちらかと言えば住みやすい」が 52.3%、「どちらかと言えば住みにくい」が 9.3%、「住みにくい」が 3.1%となっている。昨年と比較して、「住みやすい」は 4.4%増加した。

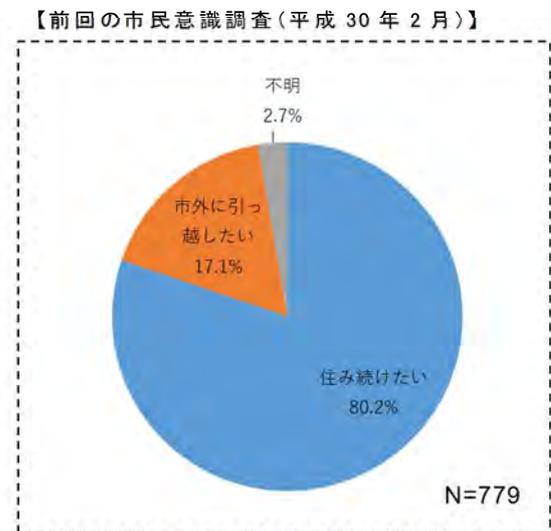
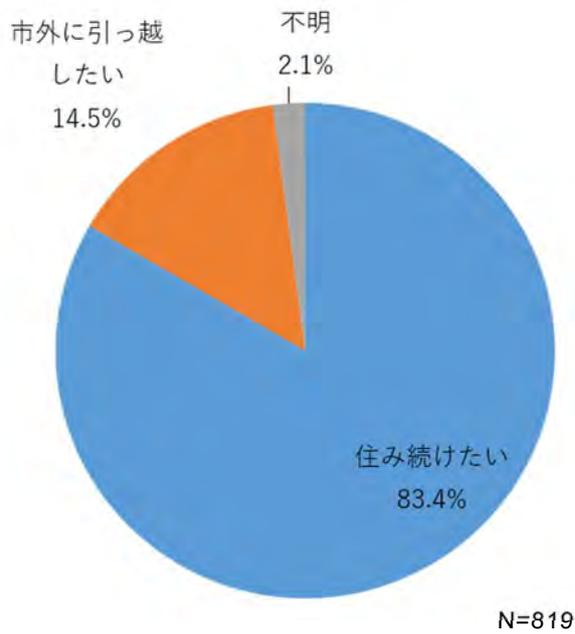


N=819



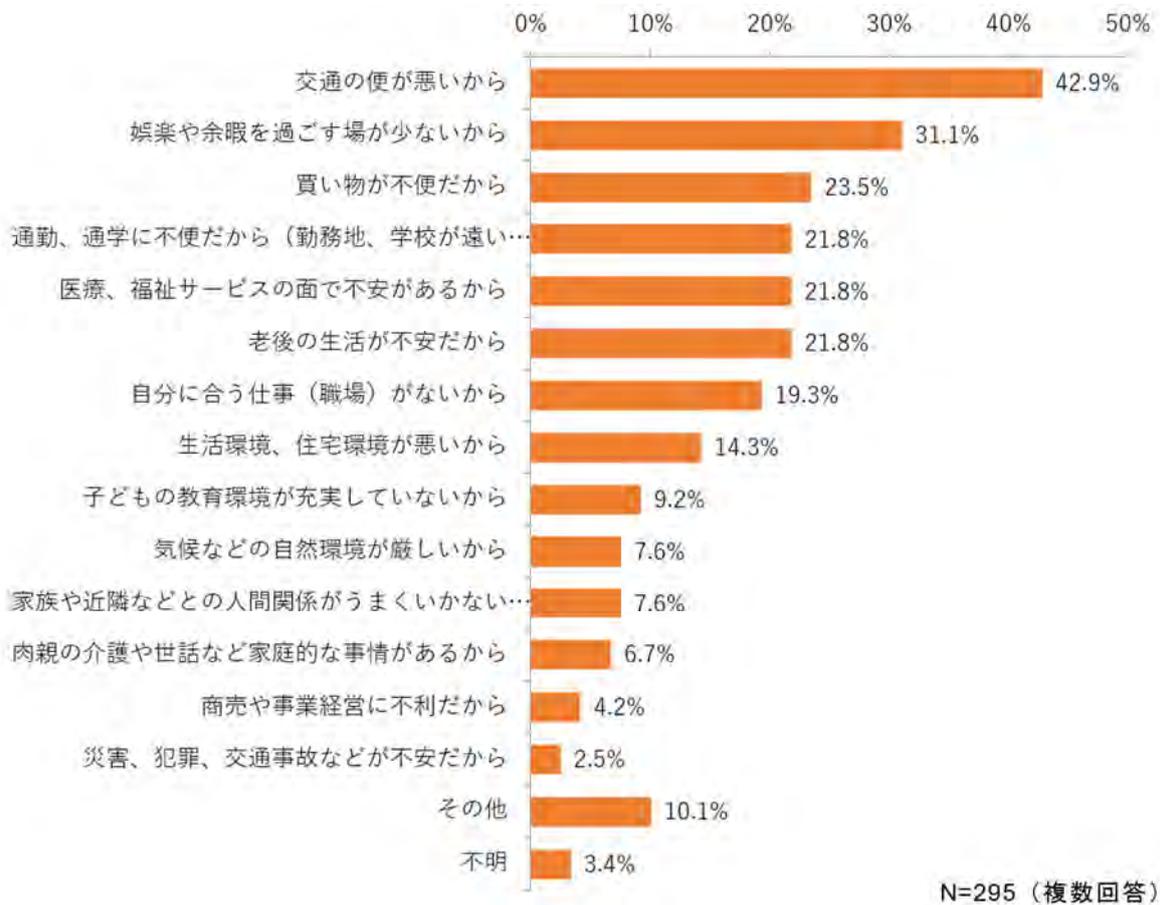
問3 あなたは、今後も燕市に住み続けたいですか。

「住み続けたい」が83.4%、「市外に引っ越したい」が14.5%となっている。



市外に引っ越したい理由

「交通の便が悪いから」が最も多く 42.9%、次いで「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が 31.1%、「買い物が不便だから」が 23.5%となっている。昨年との比較では、「交通の便が悪いから」が 9.0%減少し、「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が 16.8%増加した。



【前回の市民意識調査（平成 30 年 2 月）】



問4 燕市のまちづくりに対するあなたの満足度と重要度をおたずねします。

満足度と重要度の関係

市民のまちづくりに対する満足度、重要度について指数化し、相関関係を4象限で表した。数値が高いほど、満足度、重要度とも高い。

満足度が高い施策は「上水道の供給」、重要度が高い施策は「医療体制」である。一方、満足度が低い施策は「商業の振興」、重要度が低い施策は「生涯学習、芸術文化活動」であった。

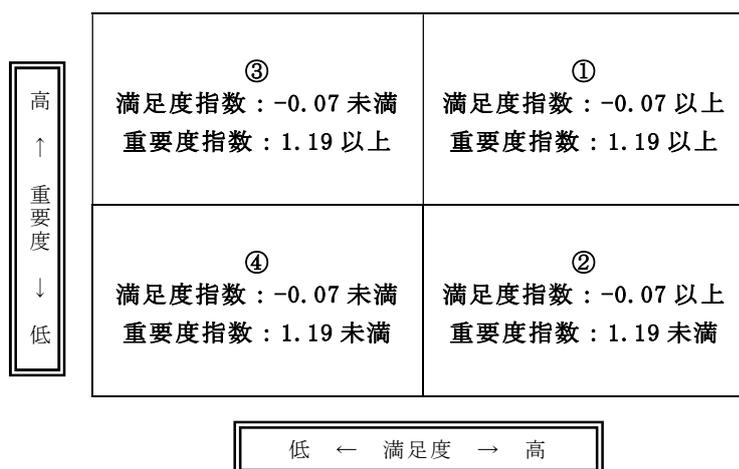
□ 指数の算出について

- ✓ 満足度指数は各項目の回答を、「満足」：2点、「どちらかと言えば満足」：1点、「わからない」：0点、「どちらかと言えば不満」：-1点、「不満」：-2点として、当該施策に対する有効回答者数の合計で除した。

(例)「地場産業の振興」について、72人は「満足」、287人は「どちらかと言えば満足」、227人は「わからない」、153人は「どちらかと言えば不満」、42人は「不満」と回答した。有効回答者数は819人中781人である。この場合、満足度指数は…
 $(72 \times 2 \text{点} + 287 \times 1 \text{点} + 227 \times 0 \text{点} + 153 \times -1 \text{点} + 42 \times -2 \text{点}) \div 781 \text{人} = \text{約 } 0.25$

- ✓ 重要度指数は各項目の回答を、「重要」：2点、「やや重要」：1点、「あまり重要ではない」：-1点、「重要ではない」：-2点として、その施策に対する有効回答者数の合計で除した。
- ✓ 図の原点は各指数の平均（満足度：-0.07、重要度：1.19）となっている。

■ 図の見方



①満足度も重要度も高い施策

満足度を低下させないために、現在の水準を維持・向上させることが求められる可能性のある施策。

②満足度は高いものの重要度は低い施策

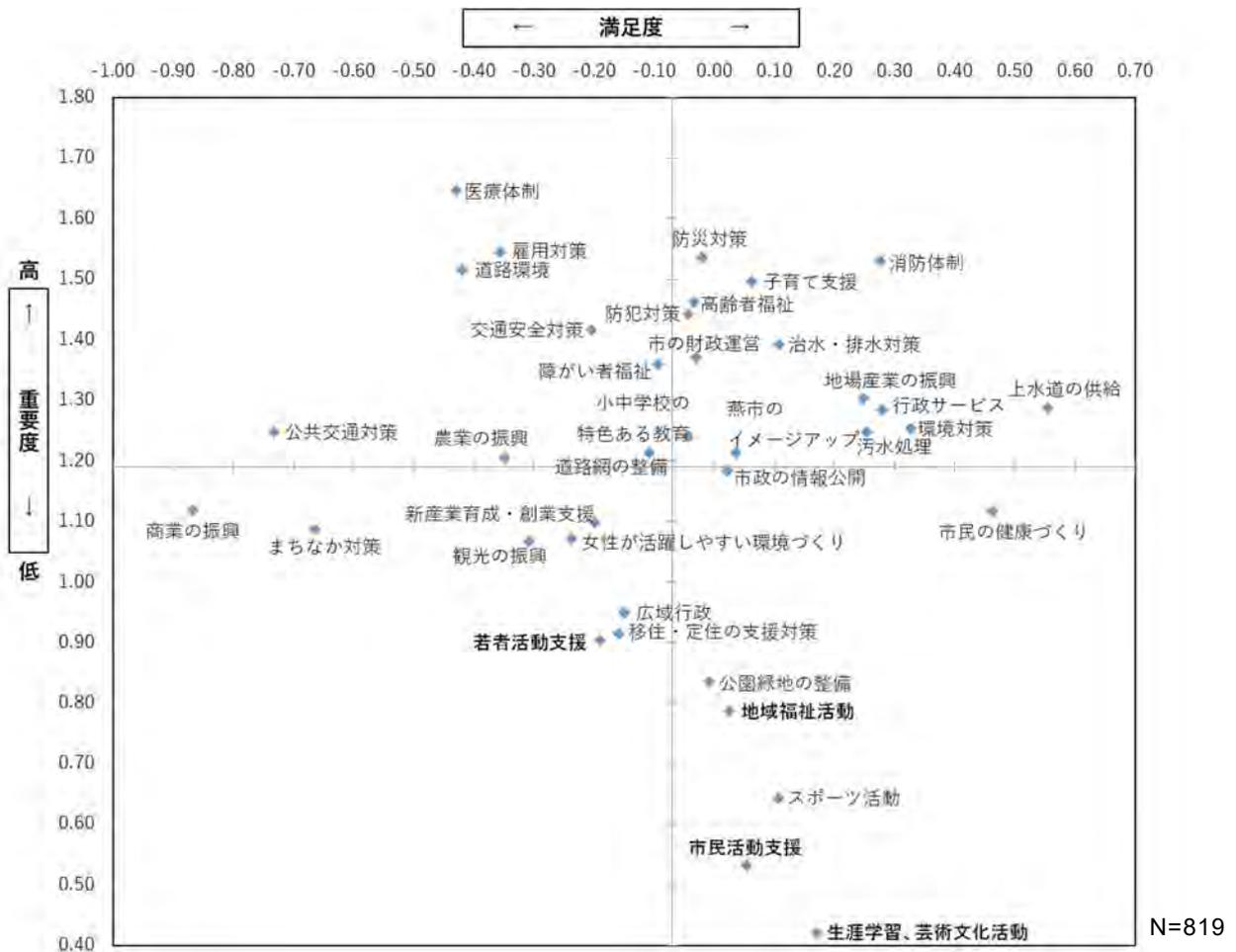
当該施策の社会的意義や法的な義務付け等への配慮は必要であるものの、財政状況によっては見直しを行う可能性のある施策。

③満足度が低く重要度が高い施策

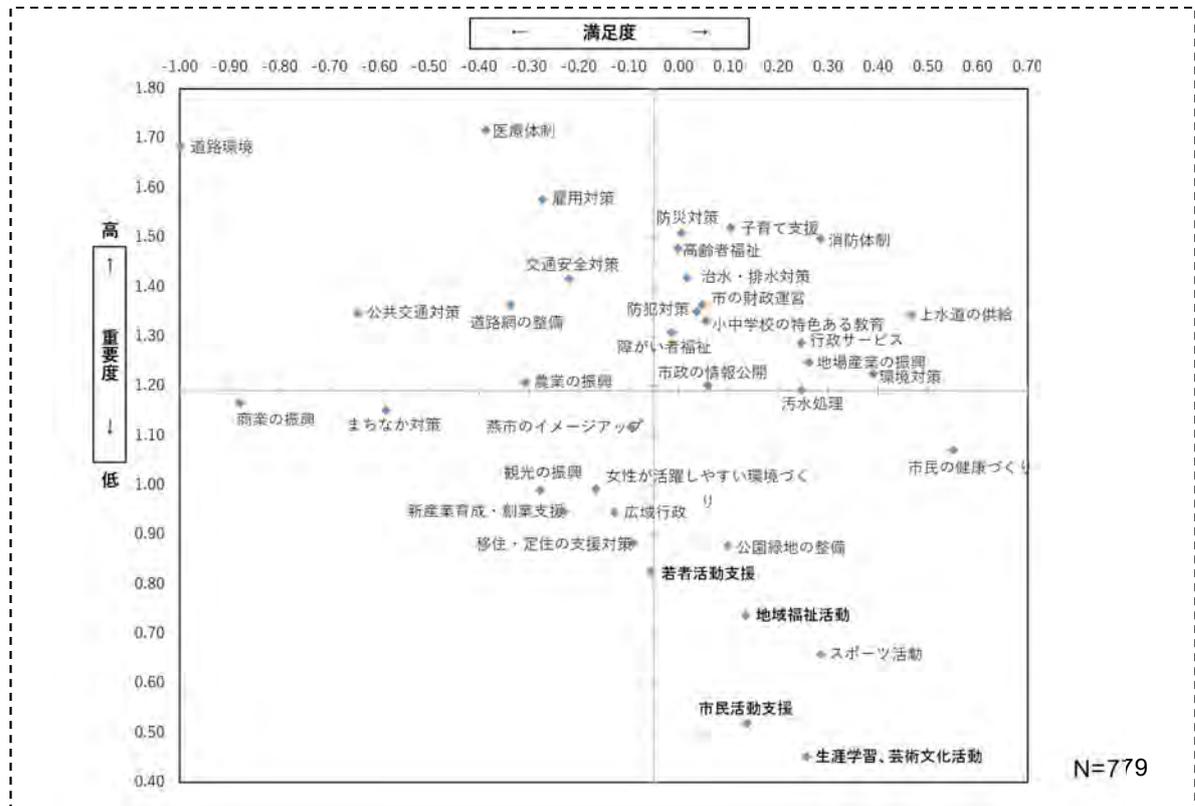
住民の期待に対して十分対応できていない施策であることから、住民満足度を向上するために最も優先して取り組まなければならない可能性のある施策。

④満足度も重要度も低い施策

重要度（住民の期待）が低いため、満足度を上げるための対策は必ずしも緊急ではない可能性のある施策。



【前回の市民意識調査(平成 30 年 2 月)】



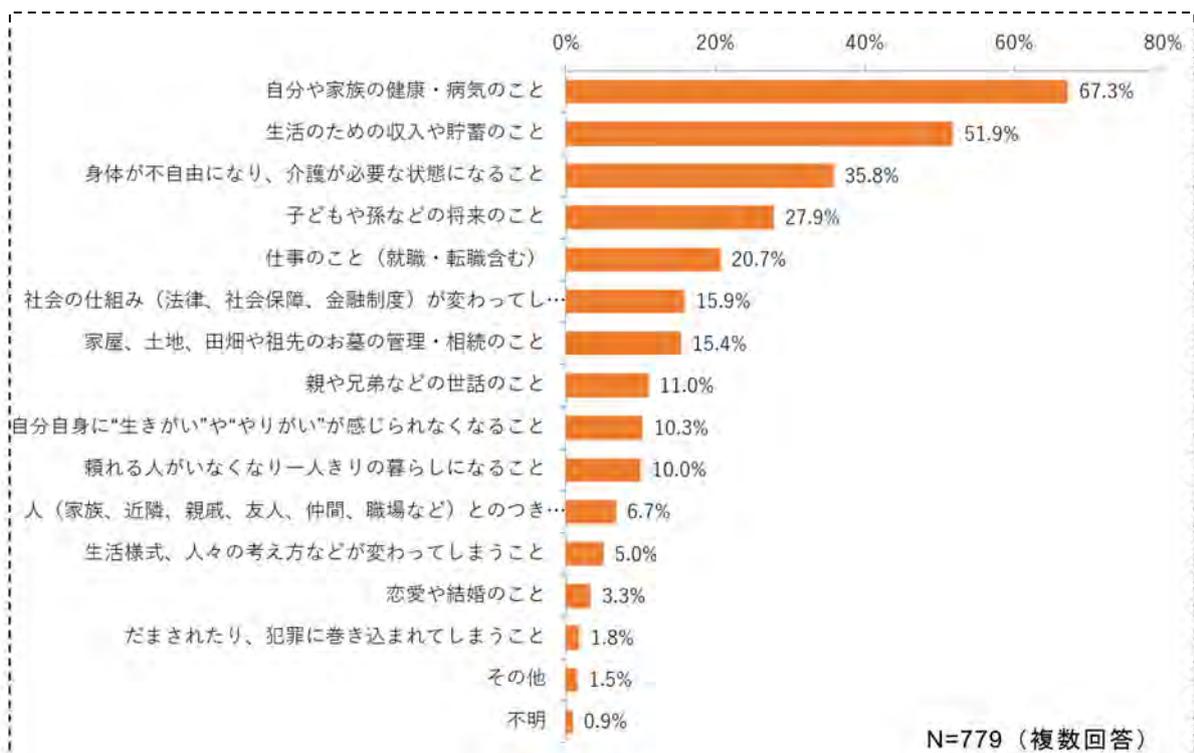
問5 あなたは5年後、10年後の将来を想像した時、どのような悩みや不安がありますか。

「自分や家族の健康・病気のこと」が68.4%、次いで「生活のための収入や貯蓄のこと」が52.4%、「身体が不自由になり、介護が必要な状態になること」が33.8%となっている。上位7位までは、昨年と同じ順序である。



N=819（複数回答）

【前回の市民意識調査（平成30年2月）】



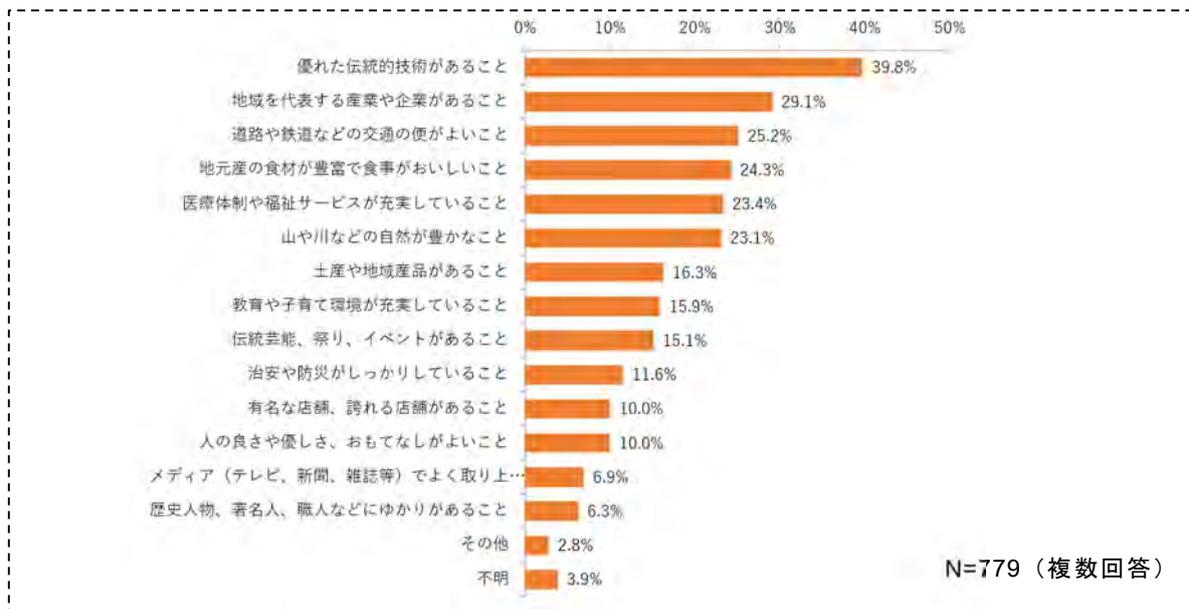
N=779（複数回答）

問6 観光資源や地場産業などの地域の特徴を活かした地域活性化（いわゆる地方創生）を進める上で、「燕市」の活かすべき特色や資源、魅力や自慢できることは何だと思えますか。

「優れた伝統的技術があること」が49.6%、次いで「地域を代表する産業や企業があること」が34.7%、「山や川などの自然が豊かなこと」が26.3%となっている。昨年との比較では、「優れた伝統的技術があること」が9.8%の増加、「医療体制や福祉サービスが充実していること」が8.5%減少した。



【前回の市民意識調査（平成30年2月）】



※問6で○印を付けたうち、特色や資源、魅力や自慢できる具体的なこと。

〔食品〕 合計8種 33件

産品名	件数
米	11
背脂ラーメン	10
農産物	5
果物	2
野菜	2
飛燕米	1
ル・レクチェ	1
食材	1

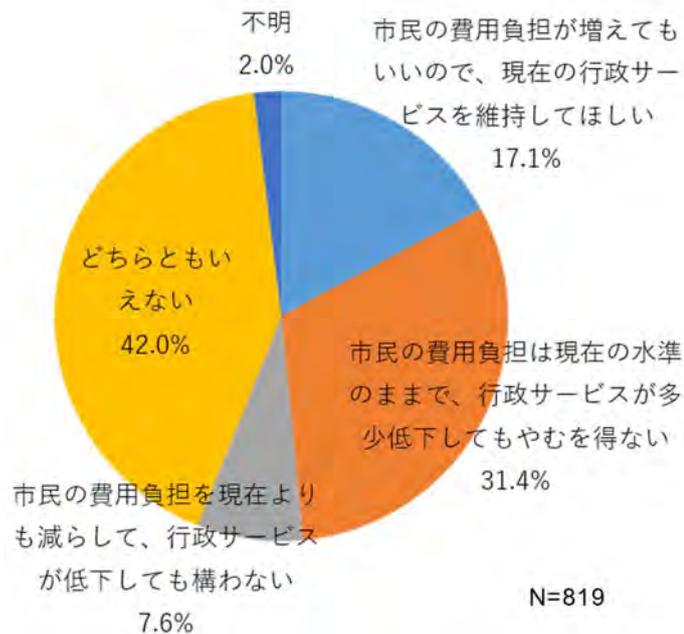
〔食品以外〕 合計49種 224件

産品名	件数
金属加工技術	31
金属洋食器	31
ハウスウェア	16
鋤起銅器	16
地場産業	12
磨き	11
大河津分水	11
良寛	9
国上山	9
交通アクセス	8
下町ロケット	6
おいらん道中	5
住みやすさ	4
農業	3
立地	3
地元企業	3
自然	3
金属加工集積地	3
萬燈	2
祭り	2
つばめっ子かるた	2
地場産品	2
信濃川	2
災害が少ない	2
河川施設	2
医療機関	2
大手企業	2
イベント/買い物が便利/香林堂/工場の祭典/五合庵/桜/酒呑童子行列/小中学生のがんばり/水田/燕三条/ツバメルシェ/デザインカ/鳥(燕)/白鳥/人柄/福祉サービス/魅力的な店舗/ヤクルトスワローズ/米納津隕石/利器工匠具/老人福祉/飲食店の数	各 1

【平成30年度新規調査項目】

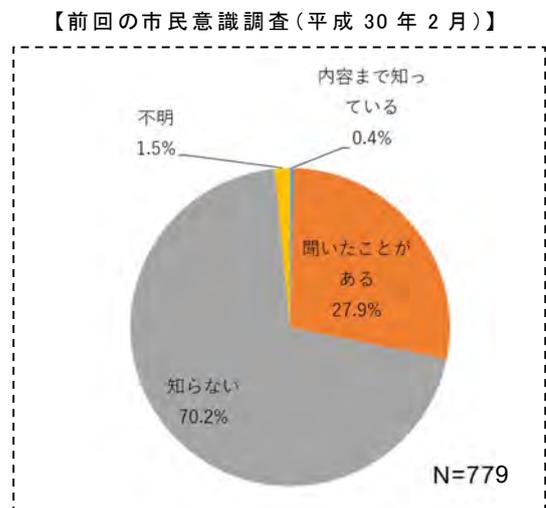
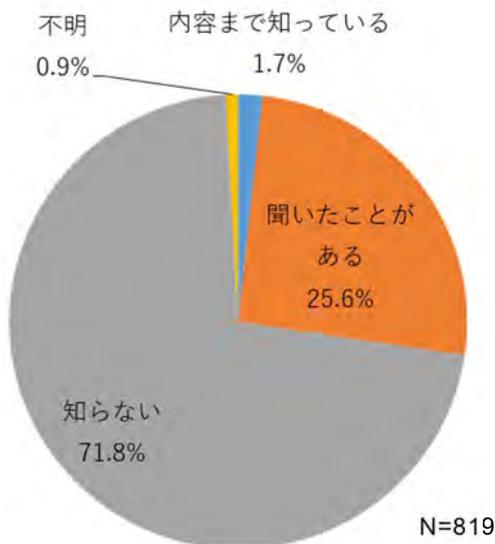
問7 燕市では、限られた予算の効率的執行に努めていますが、今後、人口減少などにより燕市の収入が減ったりすると、公共施設の維持管理や道路の修繕などが今までのようにできなくなるため、市民の皆さんの費用負担が増えることも考えられます。行政サービス（市が行う仕事）と市民の皆さんの費用負担のあり方について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。

「どちらともいえない」が42.0%と最も多く、次いで「市民の費用負担は現在の水準のままで、行政サービスが多少低下してもやむを得ない」が31.4%となっている。



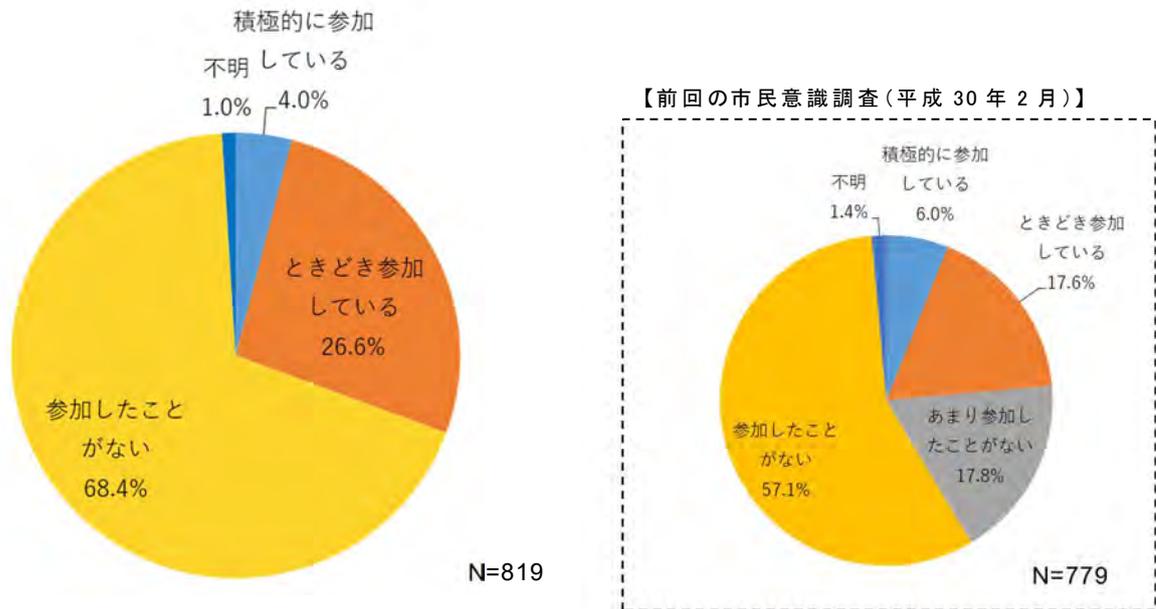
問8 まちづくりの基本理念を定めた「燕市まちづくり基本条例」を知っていますか。

「内容まで知っている」が1.7%、「聞いたことがある」が25.6%、その合計が27.3%であることに対し、「知らない」が71.8%と大きく上回っており、認知度は低い状況となっている。昨年との比較では、「内容まで知っている」が1.3%増加した。



問9 あなたは、最近、自治会やまちづくり協議会、NPO、ボランティア組織などの活動に、どの程度参加していますか。

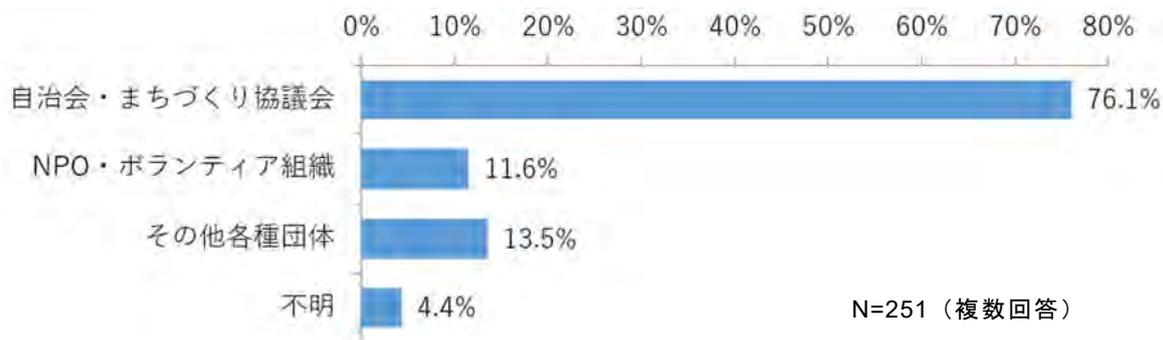
「積極的に参加している」が4.0%、「ときどき参加している」が26.6%、「参加したことがない」が68.4となっており、自治会、各種団体への参加が進んでいない状況となっている。



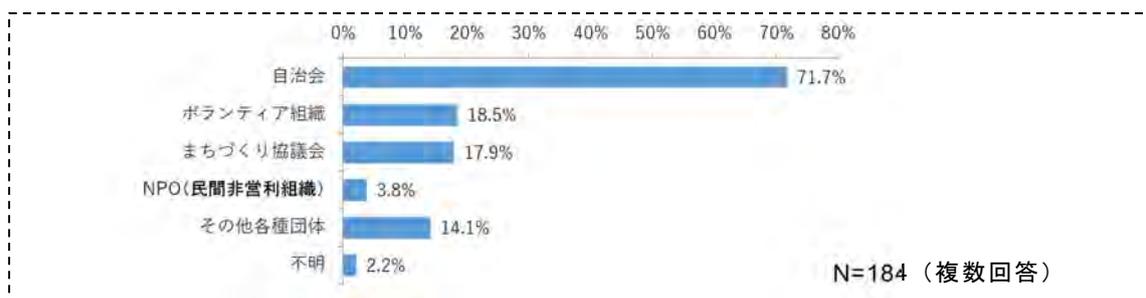
問10 参加したことがある団体の活動について

[問9で「積極的に参加している」「ときどき参加している」を回答した方限定]

参加したことがある団体活動については、「自治会・まちづくり協議会」が最も多く76.1%、次いで「その他各種団体」が13.5%、「NPO・ボランティア組織」が11.6%となっている。



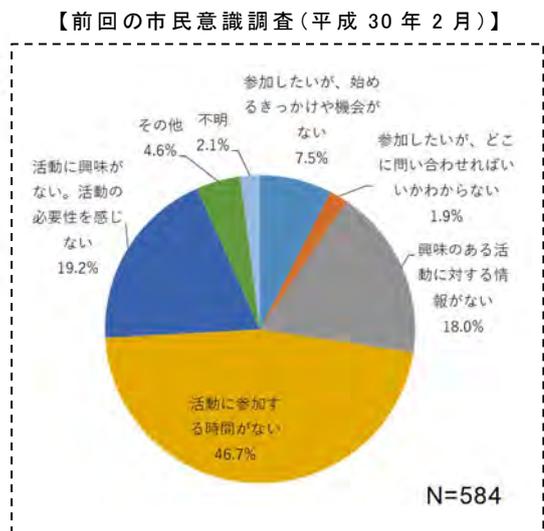
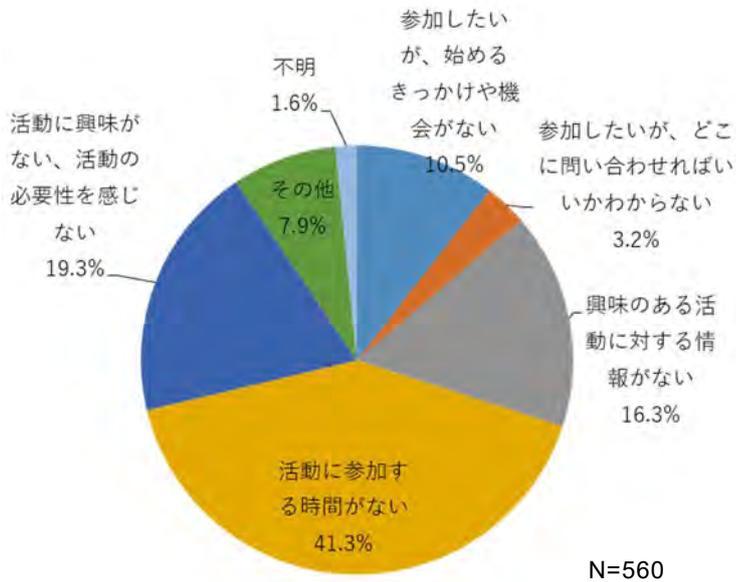
【前回の市民意識調査(平成30年2月)】



問11 参加したことがない理由について

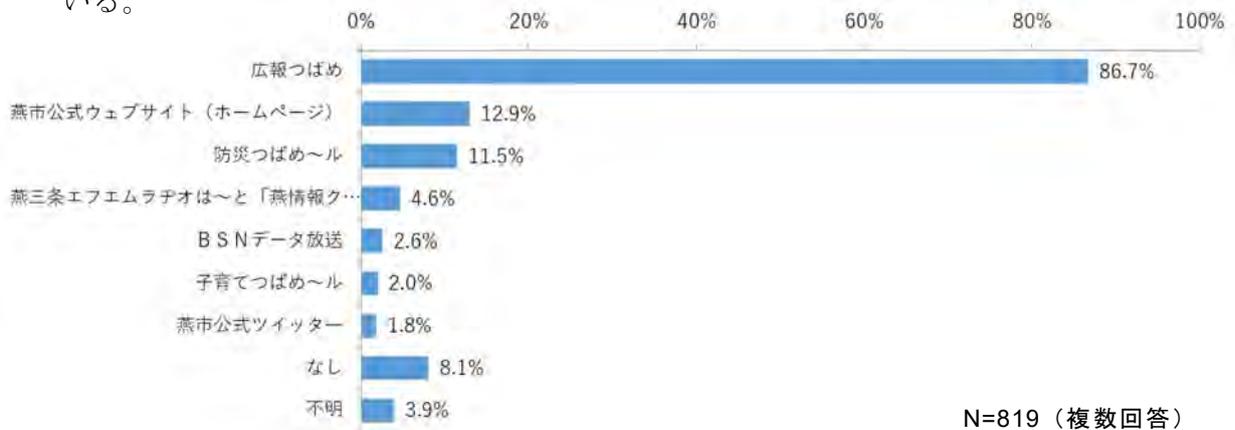
[問9で「参加したことがない」を回答した方限定]

「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」から「活動に参加する時間がない」までの7割の方々の潜在的な活動意欲を活かしきれていない状況となっている。

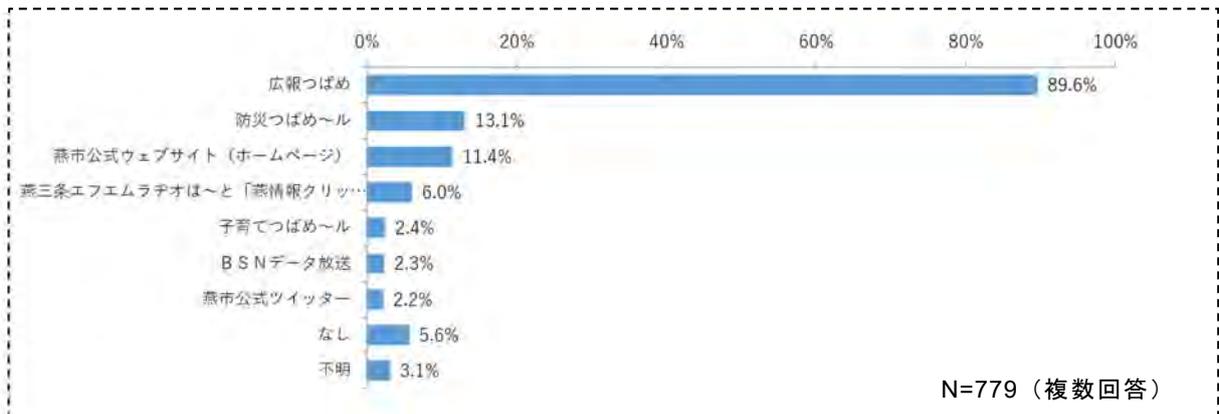


問12 あなたは、燕市が情報発信を行っているどの情報媒体を利用（読む／みる／聴く）していますか。

利用している情報媒体については、「広報つばめ」が最も多く 86.7%、次いで「燕市公式ウェブサイト（ホームページ）」が 12.9%、「防災つばめ〜ル」が 11.5%となっている。



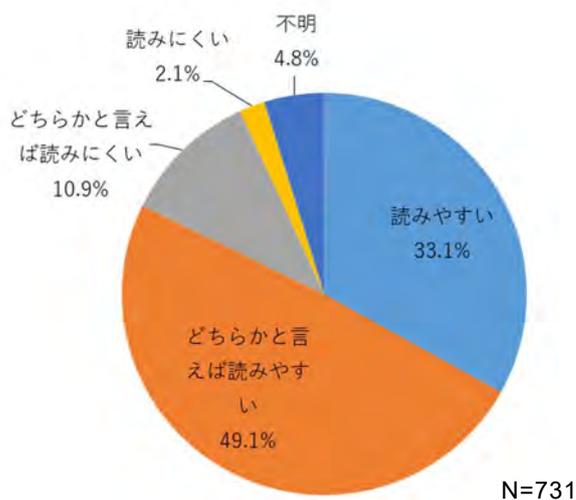
【前回の市民意識調査（平成 30 年 2 月）】



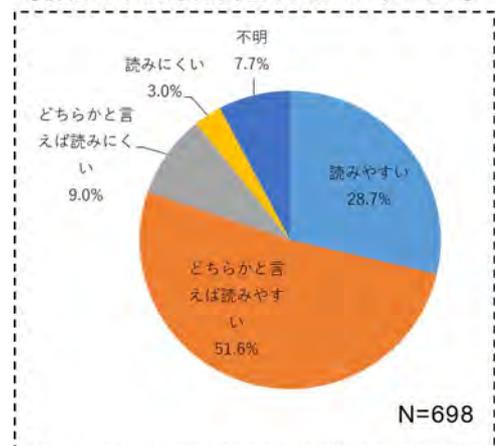
広報つばめについての読みやすさ

〔問 12 で「広報つばめ」と回答した方限定〕

広報つばめの読みやすさは、「読みやすい」、「どちらかと言えば読みやすい」で、約 8 割を占めている。



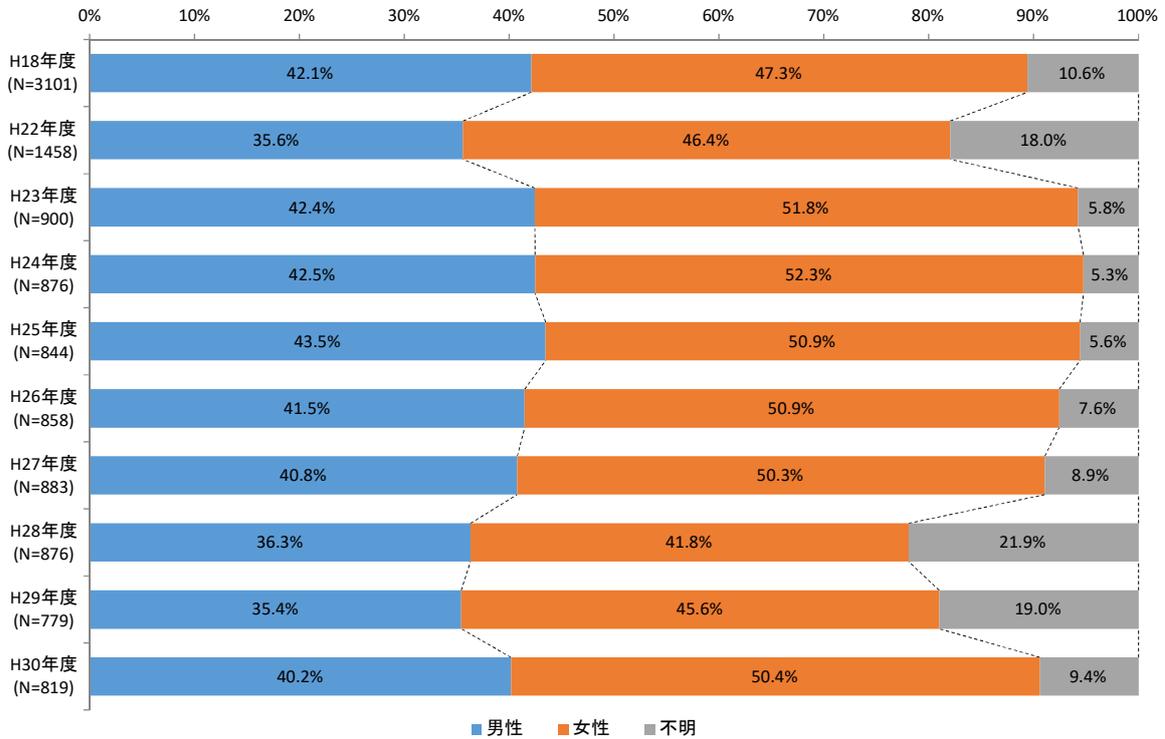
【前回の市民意識調査（平成 30 年 2 月）】



經年變化一覽表

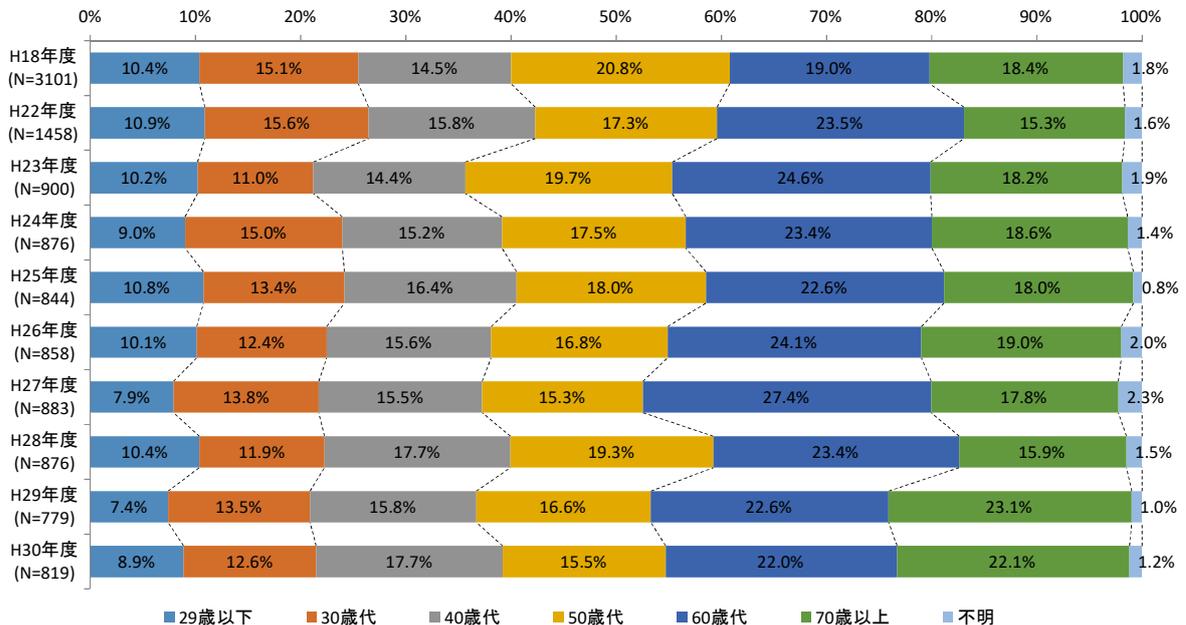
■性別

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
男性	42.1%	35.6%	42.4%	42.5%	43.5%	41.5%	40.8%	36.3%	35.4%	40.2%
女性	47.3%	46.4%	51.8%	52.3%	50.9%	50.9%	50.3%	41.8%	45.6%	50.4%
不明	10.6%	18.0%	5.8%	5.3%	5.6%	7.6%	8.9%	21.9%	19.0%	9.4%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819



■年齡

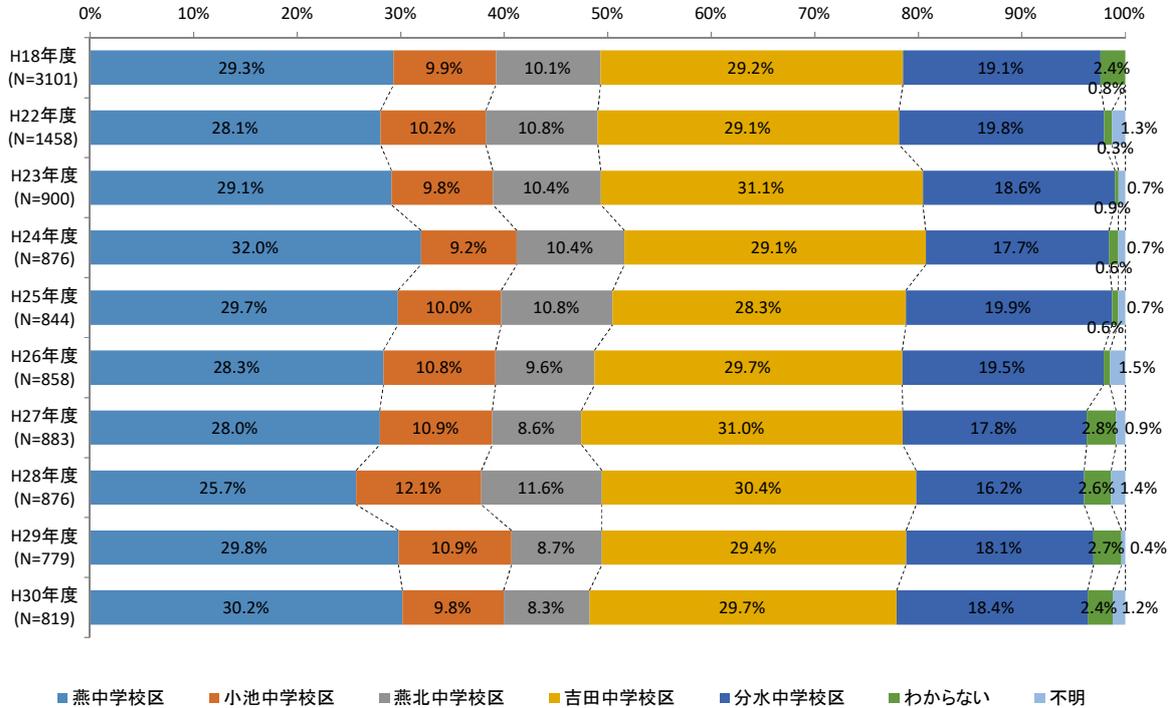
	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
29歲以下	10.4%	10.9%	10.2%	9.0%	10.8%	10.1%	7.9%	10.4%	7.4%	8.9%
30歲代	15.1%	15.6%	11.0%	15.0%	13.4%	12.4%	13.8%	11.9%	13.5%	12.6%
40歲代	14.5%	15.8%	14.4%	15.2%	16.4%	15.6%	15.5%	17.7%	15.8%	17.7%
50歲代	20.8%	17.3%	19.7%	17.5%	18.0%	16.8%	15.3%	19.3%	16.6%	15.5%
60歲代	19.0%	23.5%	24.6%	23.4%	22.6%	24.1%	27.4%	23.4%	22.6%	22.0%
70歲以上	18.4%	15.3%	18.2%	18.6%	18.0%	19.0%	17.8%	15.9%	23.1%	22.1%
不明	1.8%	1.6%	1.9%	1.4%	0.8%	2.0%	2.3%	1.5%	1.0%	1.2%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819



■お住まいの地区(中学校区)

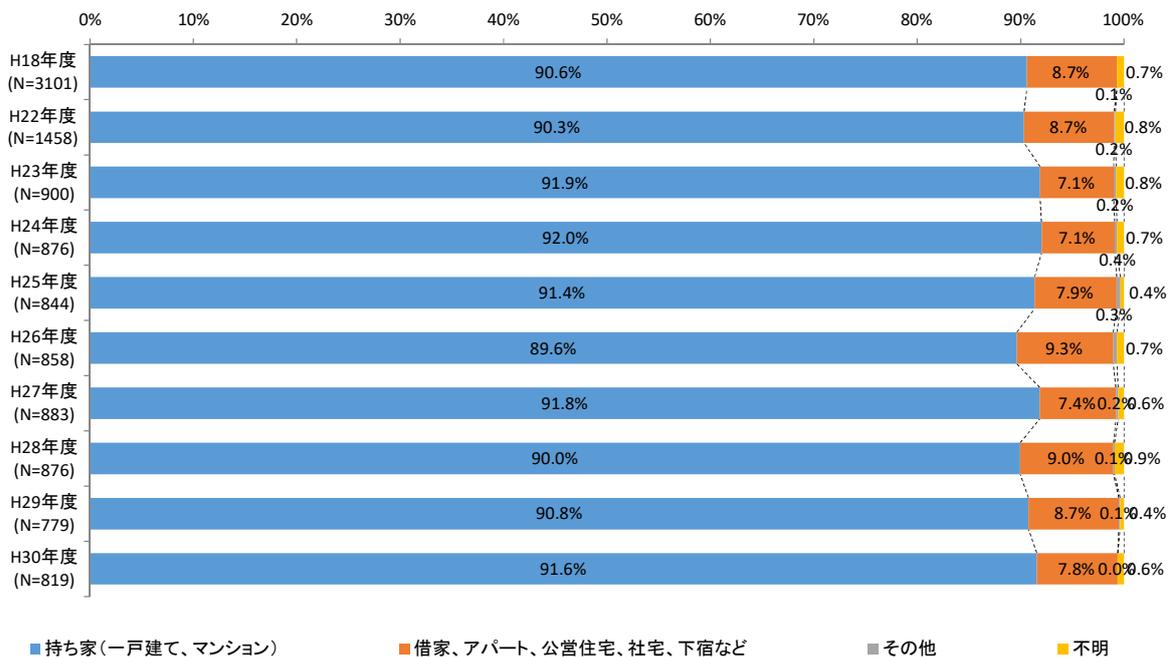
	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
燕中学校区	29.3%	28.1%	29.1%	32.0%	29.7%	28.3%	28.0%	25.7%	29.8%	30.2%
小池中学校区	9.9%	10.2%	9.8%	9.2%	10.0%	10.8%	10.9%	12.1%	10.9%	9.8%
燕北中学校区	10.1%	10.8%	10.4%	10.4%	10.8%	9.6%	8.6%	11.6%	8.7%	8.3%
吉田中学校区	29.2%	29.1%	31.1%	29.1%	28.3%	29.7%	31.0%	30.4%	29.4%	29.7%
分水中学校区	19.1%	19.8%	18.6%	17.7%	19.9%	19.5%	17.8%	16.2%	18.1%	18.4%
わからない	2.4%	0.8%	0.3%	0.9%	0.6%	0.6%	2.8%	2.6%	2.7%	2.4%
不明	0.0%	1.3%	0.7%	0.7%	0.7%	1.5%	0.9%	1.4%	0.4%	1.2%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819

※H18年度は中学校区のため、中学校区に統一



■居住形態

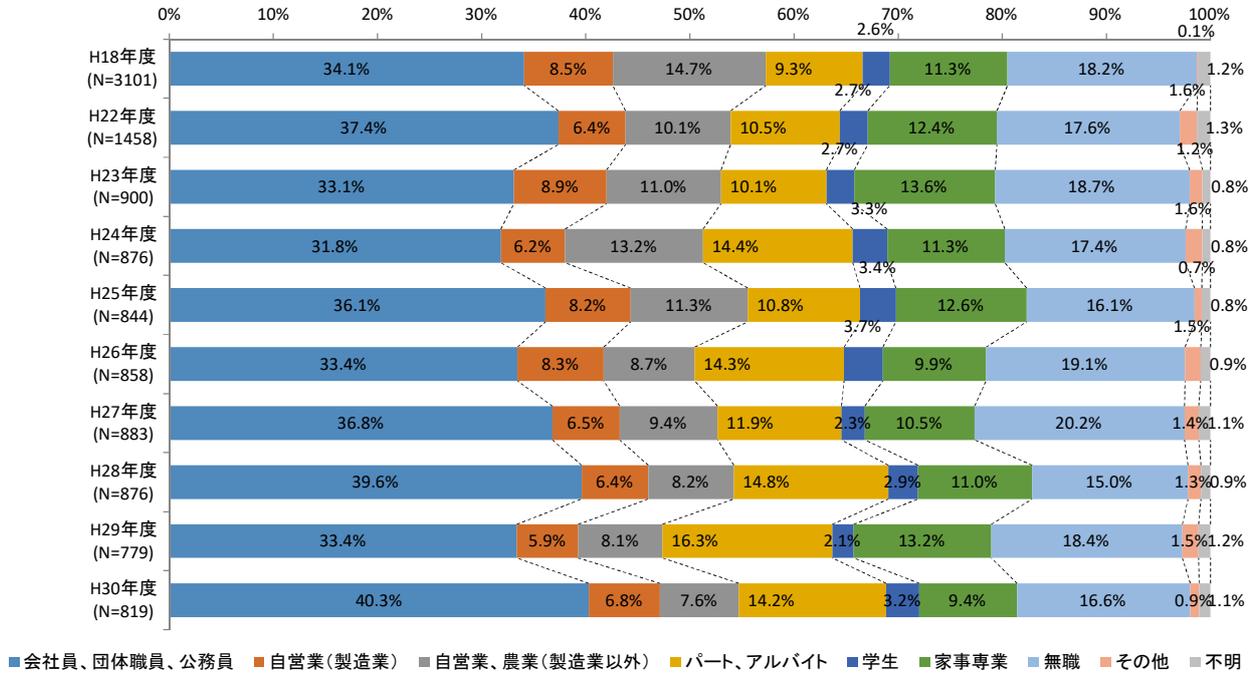
	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
持ち家(一戸建て、マンション)	90.6%	90.3%	91.9%	92.0%	91.4%	89.6%	91.8%	90.0%	90.8%	91.6%
借家、アパート、公営住宅、社宅、下宿など	8.7%	8.7%	7.1%	7.1%	7.9%	9.3%	7.4%	9.0%	8.7%	7.8%
その他	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.4%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%
不明	0.7%	0.8%	0.8%	0.7%	0.4%	0.7%	0.6%	0.9%	0.4%	0.6%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819



■職業

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
会社員、団体職員、公務員	34.1%	37.4%	33.1%	31.8%	36.1%	33.4%	36.8%	39.6%	33.4%	40.3%
自営業、家族従業員(製造業)	8.5%	6.4%	8.9%	6.2%	8.2%	8.3%	6.5%	6.4%	5.9%	6.8%
自営業、家族従業員、農業(製造業以外)	14.7%	10.1%	11.0%	13.2%	11.3%	8.7%	9.4%	8.2%	8.1%	7.6%
派遣・契約社員、パート、アルバイト	9.3%	10.5%	10.1%	14.4%	10.8%	14.3%	11.9%	14.8%	16.3%	14.2%
学生	2.6%	2.7%	2.7%	3.3%	3.4%	3.7%	2.3%	2.9%	2.1%	3.2%
家事専業	11.3%	12.4%	13.6%	11.3%	12.6%	9.9%	10.5%	11.0%	13.2%	9.4%
無職	18.2%	17.6%	18.7%	17.4%	16.1%	19.1%	20.2%	15.0%	18.4%	16.6%
その他	0.1%	1.6%	1.2%	1.6%	0.7%	1.5%	1.4%	1.3%	1.5%	0.9%
不明	1.2%	1.3%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	1.1%	0.9%	1.2%	1.1%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819

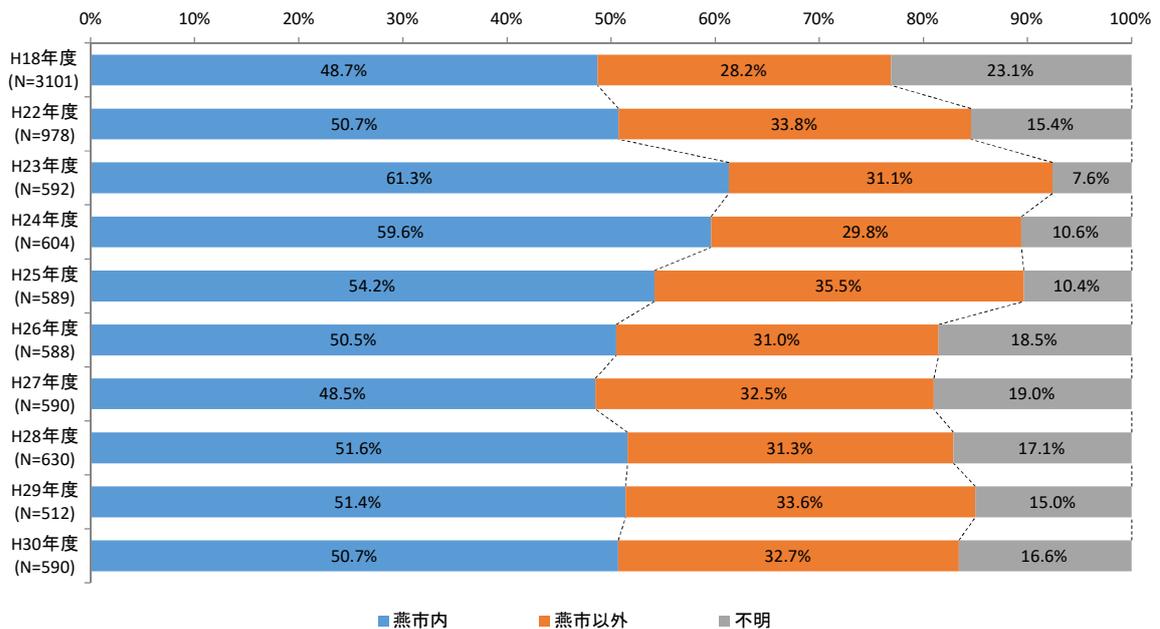
※H26に農業の単独がなかったため、H26に合わせ集計



■通勤・通学先

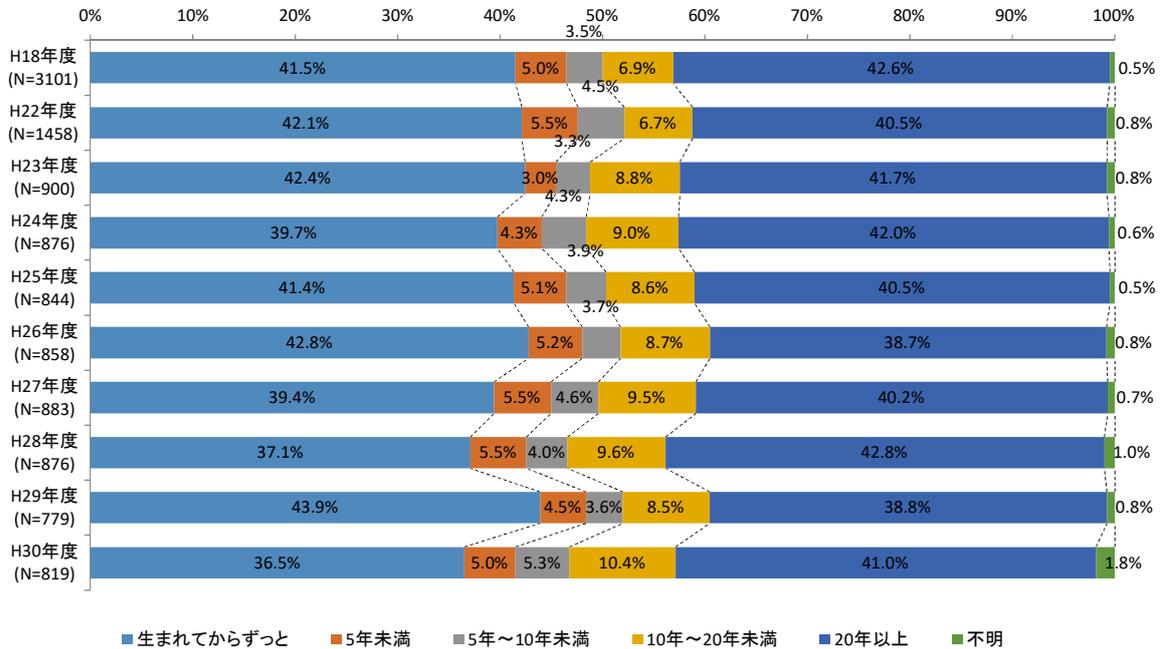
	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
燕市内	48.7%	50.7%	61.3%	59.6%	54.2%	50.5%	48.5%	51.6%	51.4%	50.7%
燕市以外	28.2%	33.8%	31.1%	29.8%	35.5%	31.0%	32.5%	31.3%	33.6%	32.7%
不明	23.1%	15.4%	7.6%	10.6%	10.4%	18.5%	19.0%	17.1%	15.0%	16.6%
N	3101	978	592	604	589	588	590	630	512	590

※H18、22年度は近隣市町村の選択肢がなかったため、統一



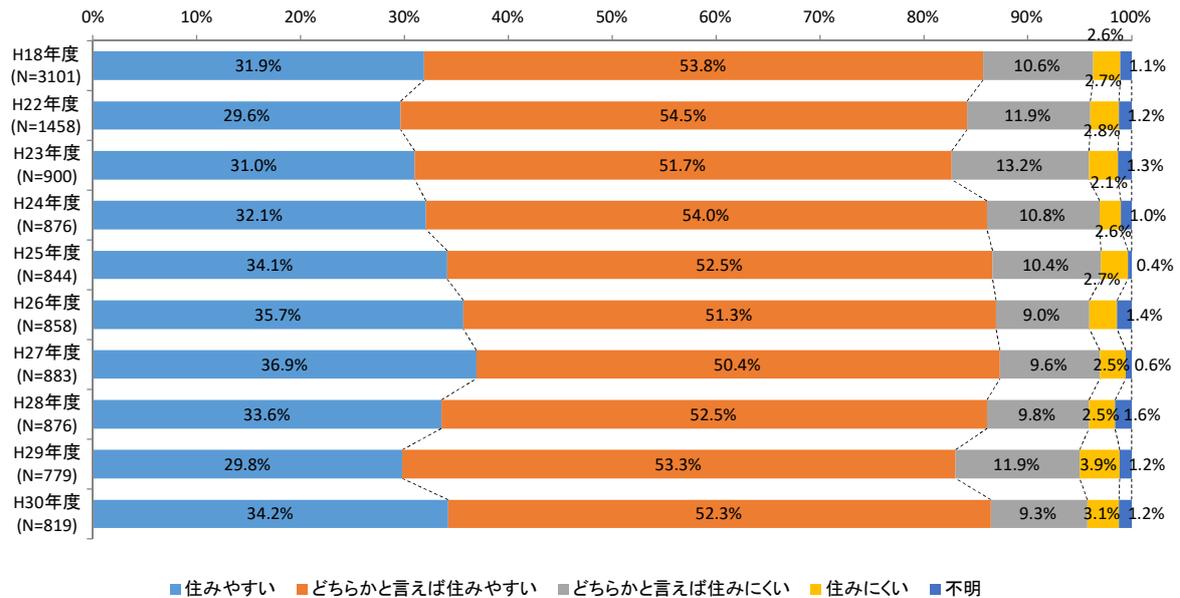
■ 燕市居住年数

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
生まれてからずっと	41.5%	42.1%	42.4%	39.7%	41.4%	42.8%	39.4%	37.1%	43.9%	36.5%
5年未満	5.0%	5.5%	3.0%	4.3%	5.1%	5.2%	5.5%	5.5%	4.5%	5.0%
5年～10年未満	3.5%	4.5%	3.3%	4.3%	3.9%	3.7%	4.6%	4.0%	3.6%	5.3%
10年～20年未満	6.9%	6.7%	8.8%	9.0%	8.6%	8.7%	9.5%	9.6%	8.5%	10.4%
20年以上	42.6%	40.5%	41.7%	42.0%	40.5%	38.7%	40.2%	42.8%	38.8%	41.0%
不明	0.5%	0.8%	0.8%	0.6%	0.5%	0.8%	0.7%	1.0%	0.8%	1.8%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819



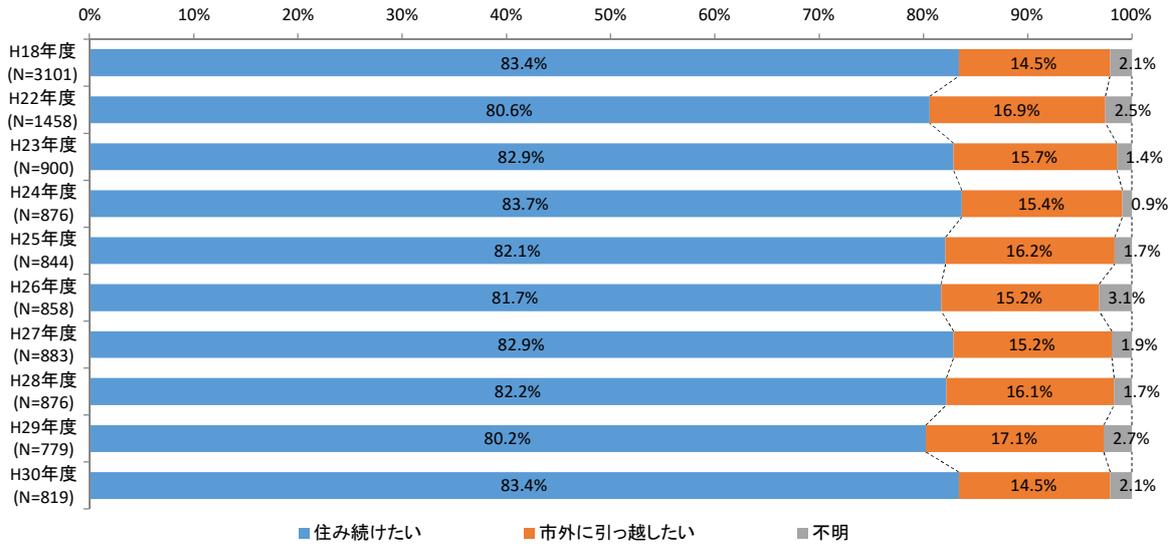
■ 住みやすさ

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
住みやすい	31.9%	29.6%	31.0%	32.1%	34.1%	35.7%	36.9%	33.6%	29.8%	34.2%
どちらかと言えば住みやすい	53.8%	54.5%	51.7%	54.0%	52.5%	51.3%	50.4%	52.5%	53.3%	52.3%
どちらかと言えば住みにくい	10.6%	11.9%	13.2%	10.8%	10.4%	9.0%	9.6%	9.8%	11.9%	9.3%
住みにくい	2.6%	2.7%	2.8%	2.1%	2.6%	2.7%	2.5%	2.5%	3.9%	3.1%
不明	1.1%	1.2%	1.3%	1.0%	0.4%	1.4%	0.6%	1.6%	1.2%	1.2%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819



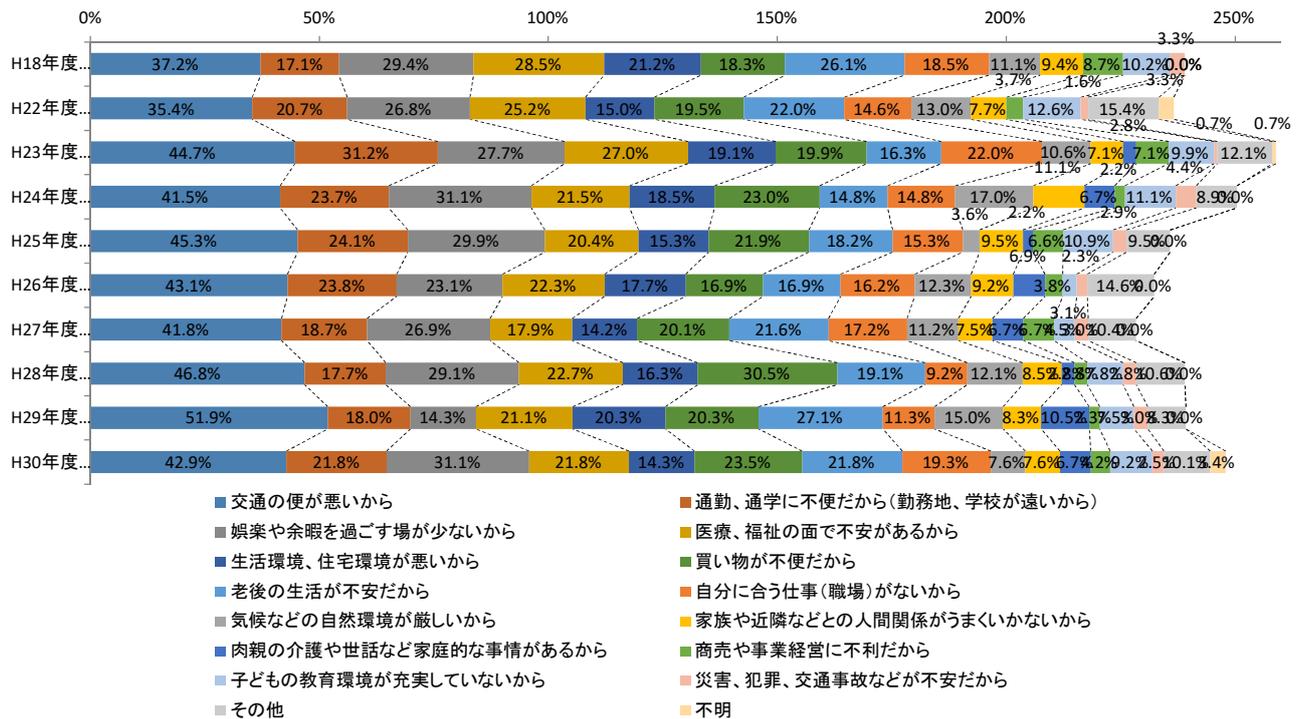
■居住意向

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
住み続けたい	83.4%	80.6%	82.9%	83.7%	82.1%	81.7%	82.9%	82.2%	80.2%	83.4%
市外に引っ越したい	14.5%	16.9%	15.7%	15.4%	16.2%	15.2%	15.2%	16.1%	17.1%	14.5%
不明	2.1%	2.5%	1.4%	0.9%	1.7%	3.1%	1.9%	1.7%	2.7%	2.1%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819



■市外に引っ越したい理由

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
交通の便が悪いから	37.2%	35.4%	44.7%	41.5%	45.3%	43.1%	41.8%	46.8%	51.9%	42.9%
通勤・通学に不便だから(勤務地、学校が遠いから)	17.1%	20.7%	31.2%	23.7%	24.1%	23.8%	18.7%	17.7%	18.0%	21.8%
娯楽や余暇を過ごす場が少ないから	29.4%	26.8%	27.7%	31.1%	29.9%	23.1%	26.9%	29.1%	14.3%	31.1%
医療、福祉の面で不安があるから	28.5%	25.2%	27.0%	21.5%	20.4%	22.3%	17.9%	22.7%	21.1%	21.8%
生活環境、住宅環境が悪いから	21.2%	15.0%	19.1%	18.5%	15.3%	17.7%	14.2%	16.3%	20.3%	14.3%
買い物が不便だから	18.3%	19.5%	19.9%	23.0%	21.9%	16.9%	20.1%	30.5%	20.3%	23.5%
老後の生活が不安だから	26.1%	22.0%	16.3%	14.8%	18.2%	16.9%	21.6%	19.1%	27.1%	21.8%
自分に合う仕事(職場)がないから	18.5%	14.6%	22.0%	14.8%	15.3%	16.2%	17.2%	9.2%	11.3%	19.3%
気候などの自然環境が厳しいから	11.1%	13.0%	10.6%	17.0%	3.6%	12.3%	11.2%	12.1%	15.0%	7.6%
家族や近隣などとの人間関係がうまくいかないから	9.4%	7.7%	7.1%	11.1%	9.5%	9.2%	7.5%	8.5%	8.3%	7.6%
肉親の介護や世話など家庭的な事情があるから			2.8%	6.7%	2.2%	6.9%	6.7%	2.8%	10.5%	6.7%
商売や事業経営に不利だから	8.7%	3.7%	7.1%	2.2%	6.6%	3.8%	6.7%	2.8%	2.3%	4.2%
子どもの教育環境が充実していないから	10.2%	12.6%	9.9%	11.1%	10.9%	3.1%	4.5%	7.8%	7.5%	9.2%
災害、犯罪、交通事故などが不安だから	3.3%	1.6%	0.7%	4.4%	2.9%	2.3%	3.0%	2.8%	3.0%	2.5%
その他	0.0%	15.4%	12.1%	8.9%	9.5%	14.6%	10.4%	10.6%	8.3%	10.1%
不明	0.0%	3.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%
合計	449	246	364	338	323	302	306	337	318	295

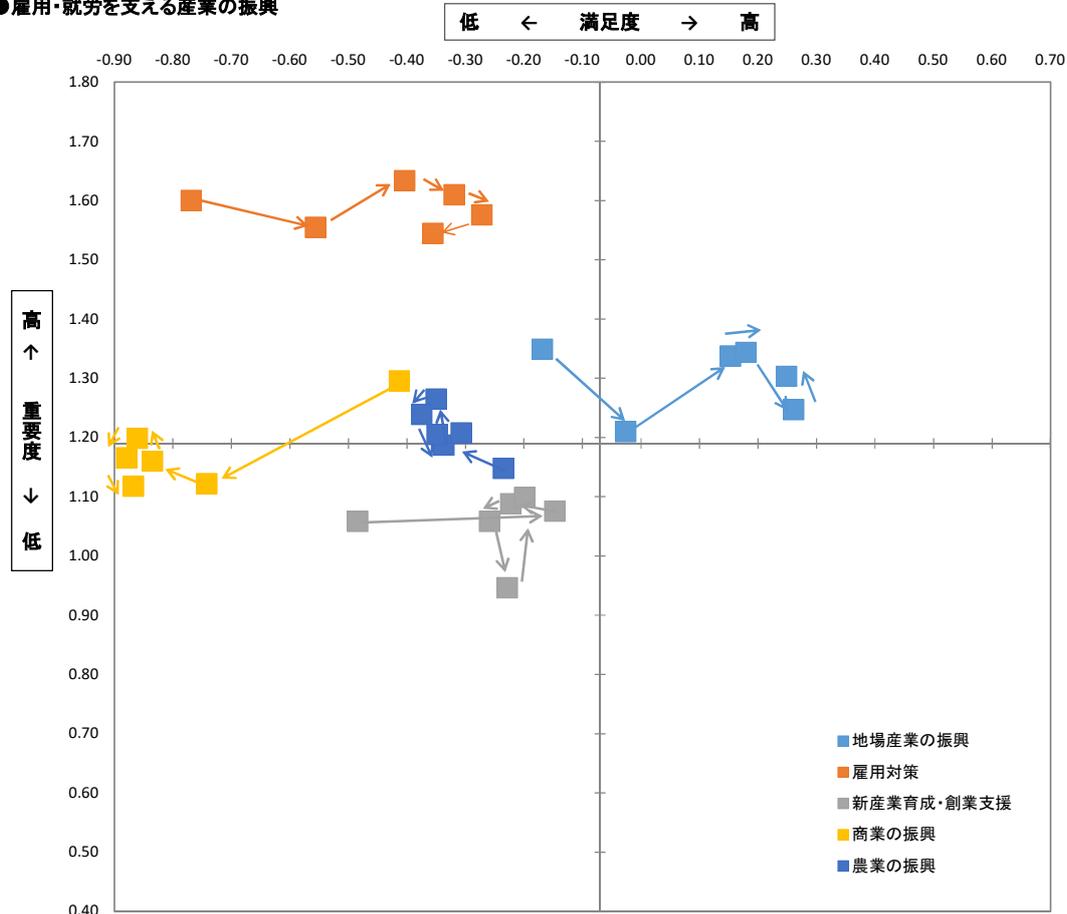


■まちづくりに対する満足度・重要度

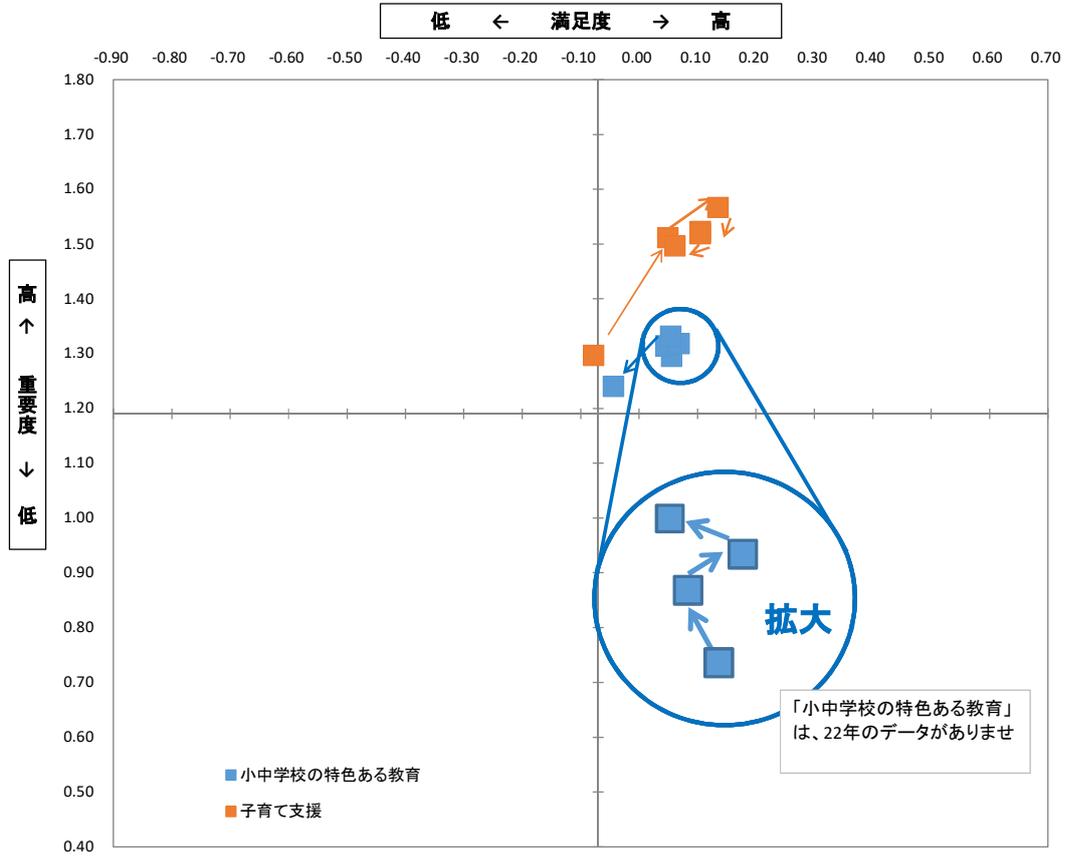
18年度、22年度、26年度～29年度の比較

	H22年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度				
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度			
定住人口増戦略	雇用・就労を支える産業の振興	地場産業の振興	-0.17	1.35	-0.03	1.21	0.15	1.34	0.18	1.34	0.26	1.25	0.25	1.30	
		雇用対策	-0.77	1.60	-0.56	1.56	-0.40	1.63	-0.32	1.61	-0.27	1.58	-0.36	1.54	
		新産業育成・創業支援	-0.48	1.06	-0.15	1.08	-0.22	1.09	-0.26	1.06	-0.23	0.95	-0.20	1.10	
		商業の振興	-0.41	1.30	-0.74	1.12	-0.83	1.16	-0.86	1.20	-0.88	1.17	-0.87	1.12	
		農業の振興	-0.24	1.15	-0.34	1.19	-0.35	1.26	-0.37	1.24	-0.31	1.21	-0.35	1.20	
	地域に根ざした教育の推進・子育て支援	小中学校の特色ある教育	-	-	0.06	1.29	0.05	1.31	0.07	1.32	0.05	1.33	-0.04	1.24	
		小中学校の教育環境	0.06	1.50	0.04	1.36									
		青少年の健全育成	-0.02	1.29	-0.01	1.39									
		子育て支援	-0.08	1.30	0.05	1.51	0.13	1.57	0.11	1.52	0.10	1.52	0.06	1.50	
		健やかな暮らしを支える医療福祉の充実	医療体制	-0.38	1.66	-0.29	1.65	-0.48	1.74	-0.45	1.68	-0.39	1.72	-0.43	1.65
活動人口増戦略	市民が主役の健康づくり・生きがいづくり	高齢者福祉	-0.21	1.38	0.04	1.46	-0.07	1.54	-0.02	1.53	0.00	1.48	-0.03	1.46	
		障がい者福祉	-0.15	1.28	0.04	1.35	-0.04	1.39	0.01	1.38	-0.01	1.31	-0.09	1.36	
		移住・定住の促進	移住・定住の支援対策					-0.15	0.90	-0.13	0.90	-0.09	0.88	-0.16	0.92
		市民の健康づくり	0.12	1.52	0.54	1.26	0.54	1.20	0.47	1.15	0.55	1.07	0.46	1.12	
		スポーツ活動	0.15	0.48	0.19	0.62	0.28	0.69	0.19	0.74	0.29	0.66	0.11	0.64	
	支え合い、助け合い活動の活発化	生涯学習、芸術文化活動	-	-	0.21	0.38	0.22	0.52	0.16	0.45	0.26	0.45	0.17	0.42	
		地域福祉活動	-0.13	1.09	0.12	0.93	0.10	0.79	0.11	0.81	0.14	0.74	0.02	0.79	
		市民活動支援	-0.01	0.37	0.08	0.64	0.11	0.53	0.06	0.61	0.14	0.52	0.05	0.53	
		市政への市民参画	0.00	0.38	0.05	0.79									
		若者・女性の力を活かしたまちづくり	若者活動支援					-0.15	0.86	-0.12	0.90	-0.05	0.82	-0.19	0.90
交流・応援(燕)人口増	観光の振興 都市間交流の推進 燕市のファンづくり	観光の振興	-0.49	0.65	-0.31	1.01	-0.35	0.97	-0.35	1.02	-0.28	0.99	-0.31	1.07	
		広域行政					-0.15	0.88	-0.15	0.93	-0.13	0.94	-0.15	0.95	
		燕市のイメージアップ					-0.14	1.18	-0.15	1.19	-0.09	1.12	0.04	1.21	
		防災対策	-0.13	1.43	-0.06	1.58	-0.05	1.51	0.01	1.51	0.01	1.51	-0.02	1.54	
人口増戦略を支える都市環境の整備	安全・安心機能の向上	治水・排水対策	0.04	0.93	0.13	1.06	0.04	1.41	0.06	1.37	0.02	1.42	0.11	1.39	
		消防体制	-	-	0.23	1.58	0.30	1.54	0.29	1.55	0.29	1.50	0.28	1.53	
		防犯対策	0.12	1.35	-0.01	1.38	0.05	1.42	0.00	1.44	0.04	1.35	-0.04	1.44	
		交通安全対策	0.10	1.13	-0.08	1.40	-0.12	1.44	-0.17	1.45	-0.22	1.42	-0.20	1.42	
		公共交通対策	-0.58	0.98	-0.47	1.09	-0.58	1.23	-0.70	1.28	-0.64	1.35	-0.73	1.25	
	快適な都市機能の向上	環境対策	0.00	1.11	0.40	1.23	0.36	1.24	0.35	1.18	0.39	1.22	0.33	1.25	
		まちなか対策	-	-	-0.65	0.82	-0.58	0.99	-0.58	1.09	-0.59	1.15	-0.66	1.09	
		公園緑地の整備	0.00	0.70	0.16	0.74	0.03	0.87	0.01	0.91	0.10	0.88	-0.01	0.83	
		道路網の整備	-0.20	1.04	0.09	1.10	-0.15	1.27	-0.15	1.25	-0.34	1.36	-0.11	1.21	
		道路環境	-	-	-0.16	1.38	-0.47	1.55	-0.39	1.49	-1.00	1.68	-0.42	1.52	
行財政運営	上水道の供給 汚水処理	市政の情報公開	0.01	0.86	0.02	1.05	0.00	1.20	0.01	1.21	0.06	1.20	0.02	1.18	
		行政サービス	-0.05	1.07	0.15	1.19	0.13	1.29	0.15	1.33	0.25	1.29	0.28	1.28	
		市の財政運営	-0.31	1.44	-0.04	1.27	-0.06	1.40	-0.08	1.36	0.05	1.36	-0.03	1.37	

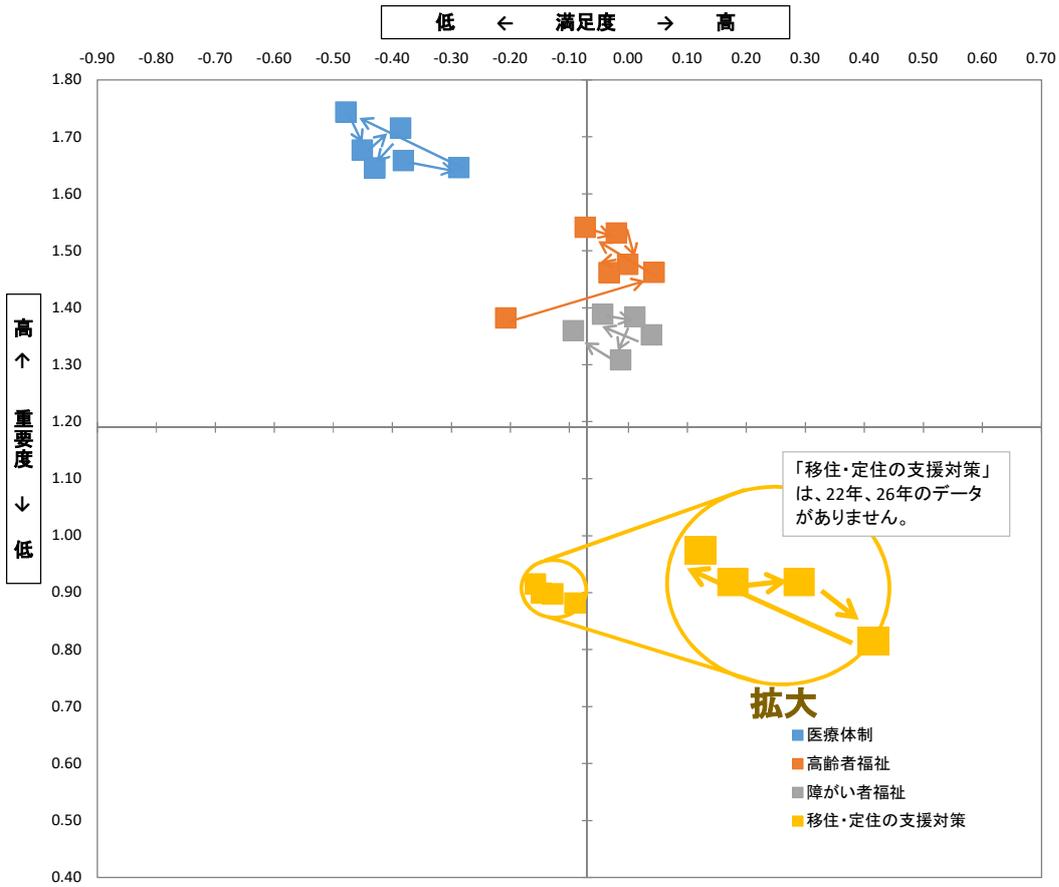
●雇用・就労を支える産業の振興



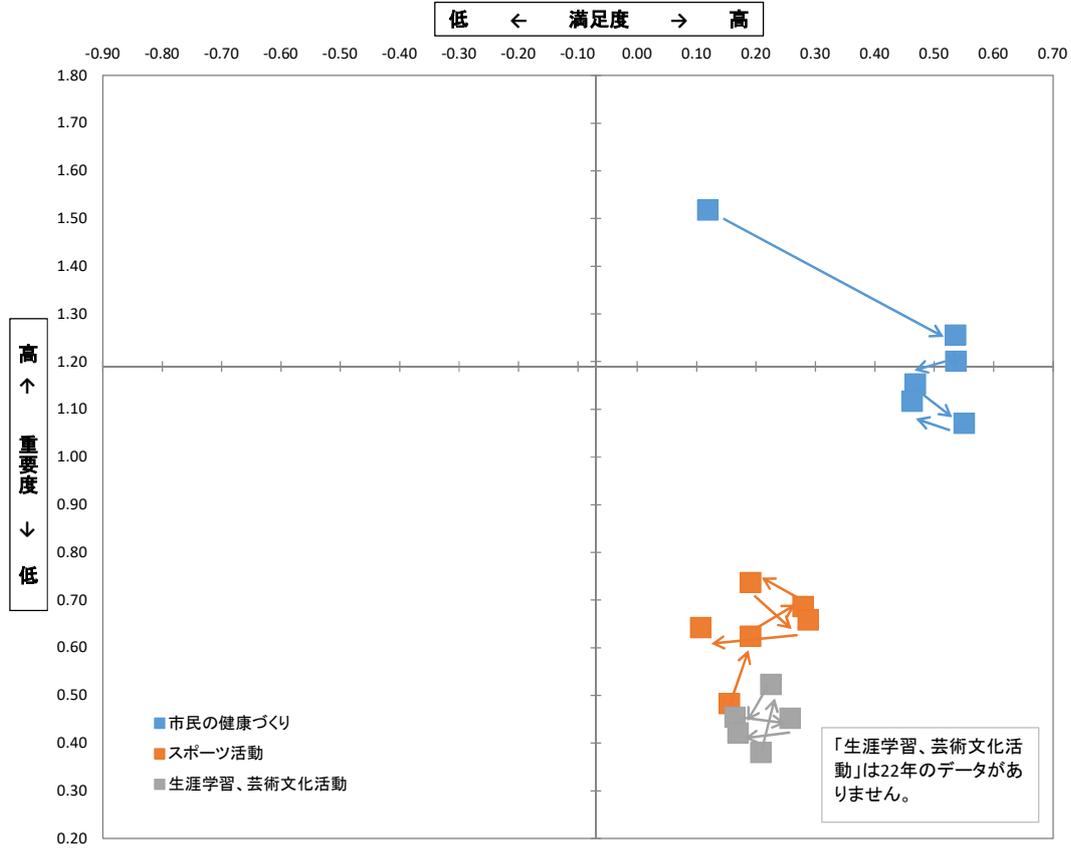
●地域に根ざした教育の推進・子育て支援



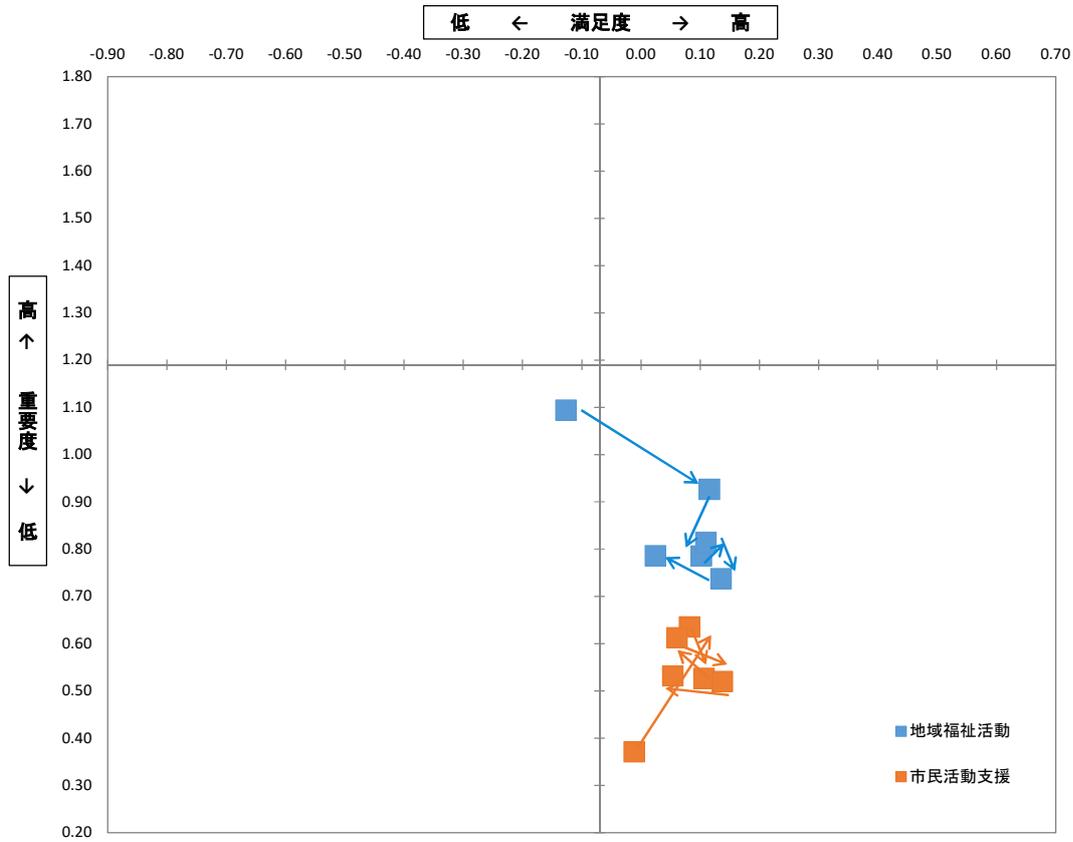
●健やかな暮らしを支える医療福祉の充実／移住・定住の促進



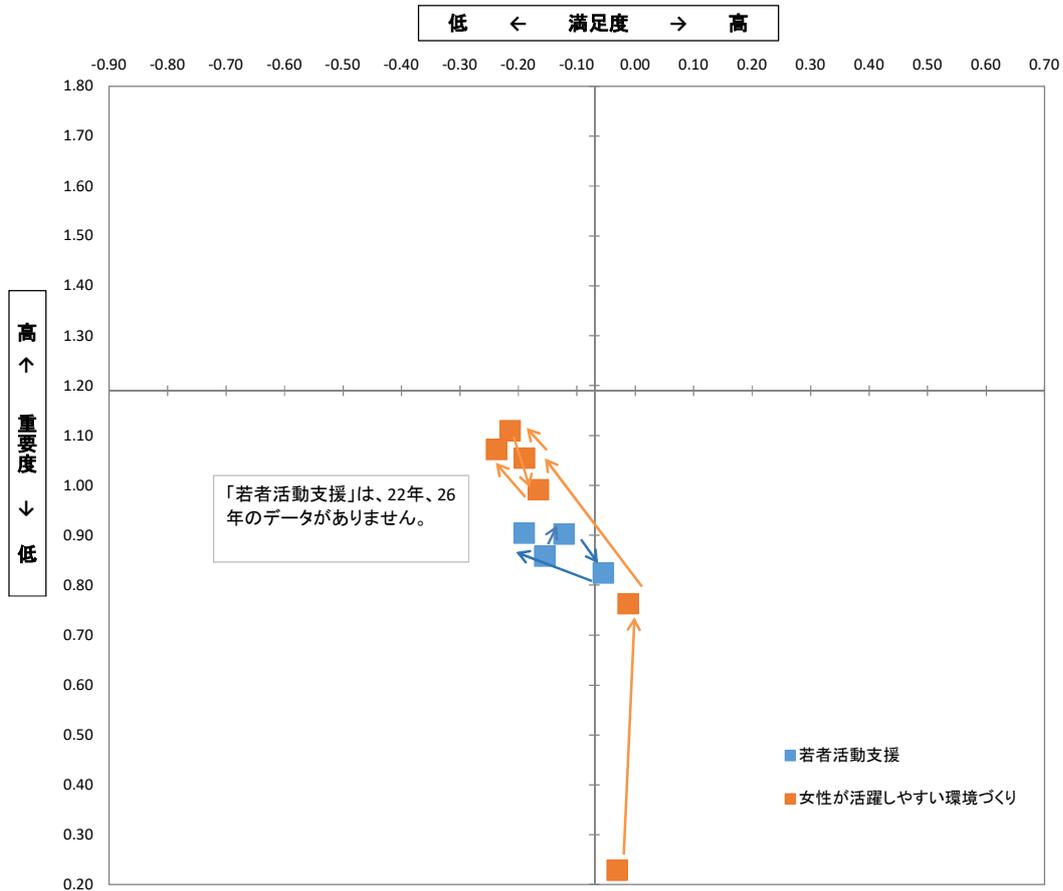
●市民が主役の健康づくり・生きがいづくり



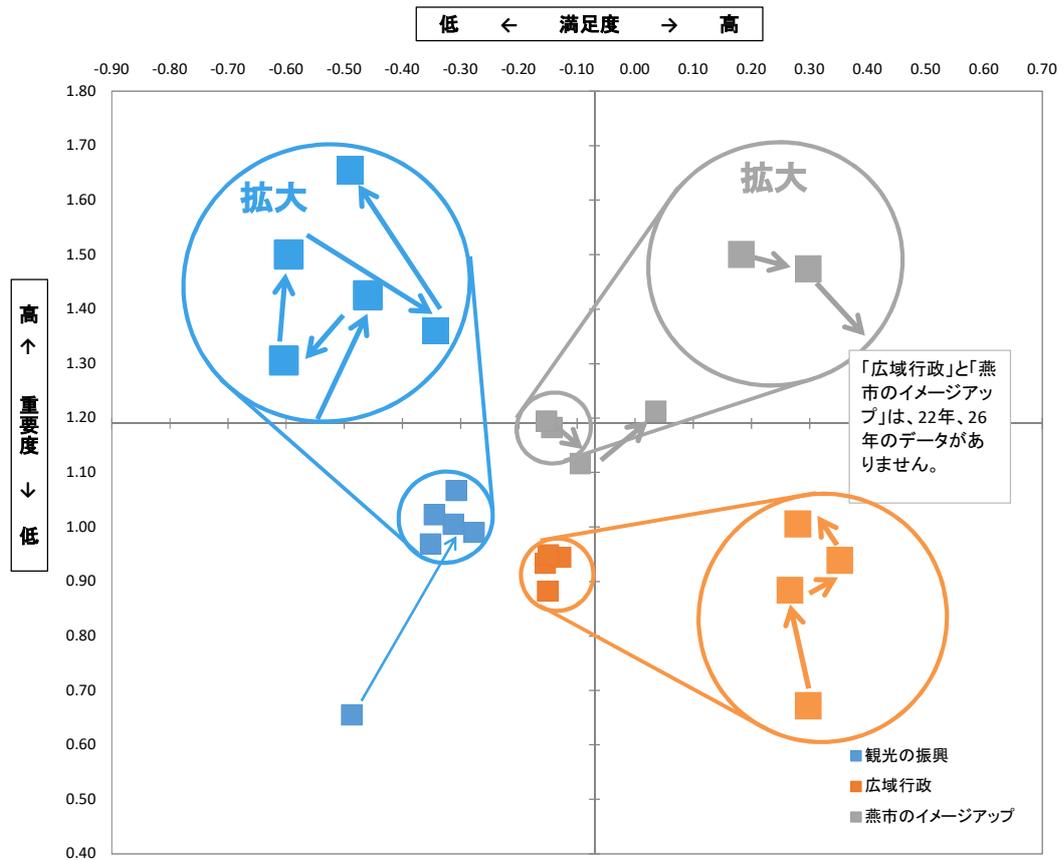
●支え合い・助け合い活動の活発化



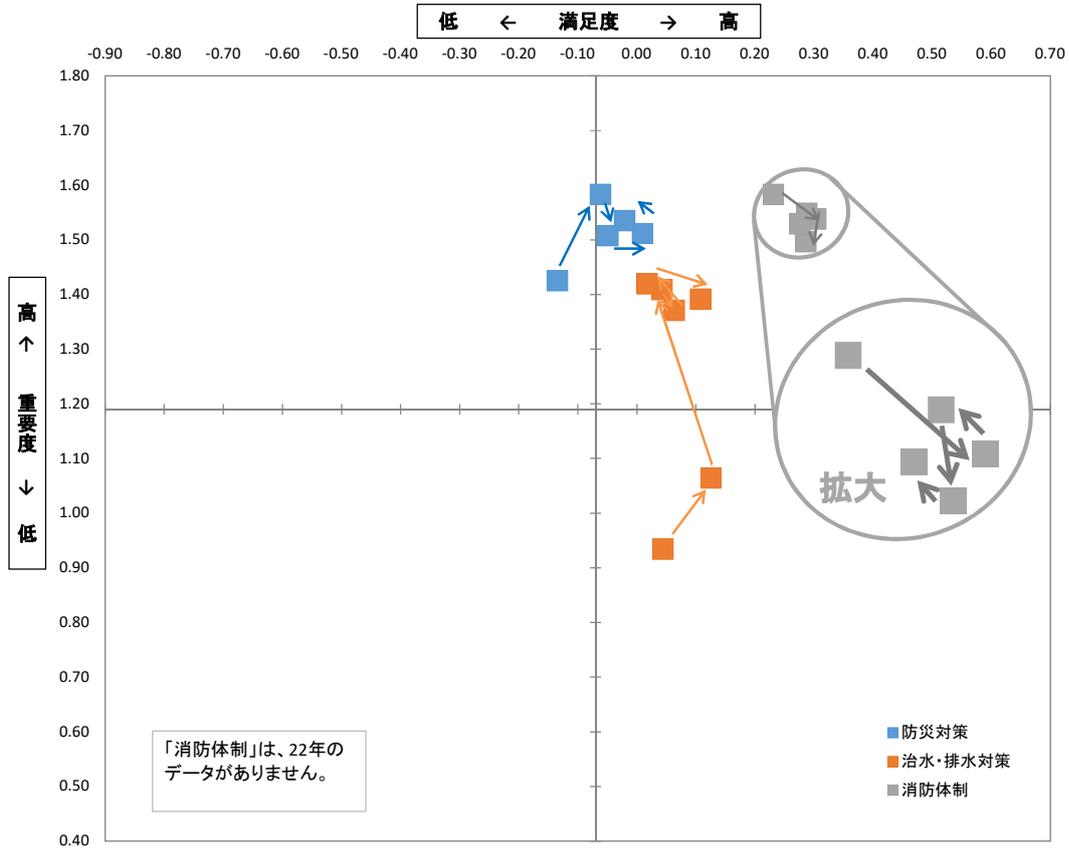
●若者・女性の力を活かしたまちづくり



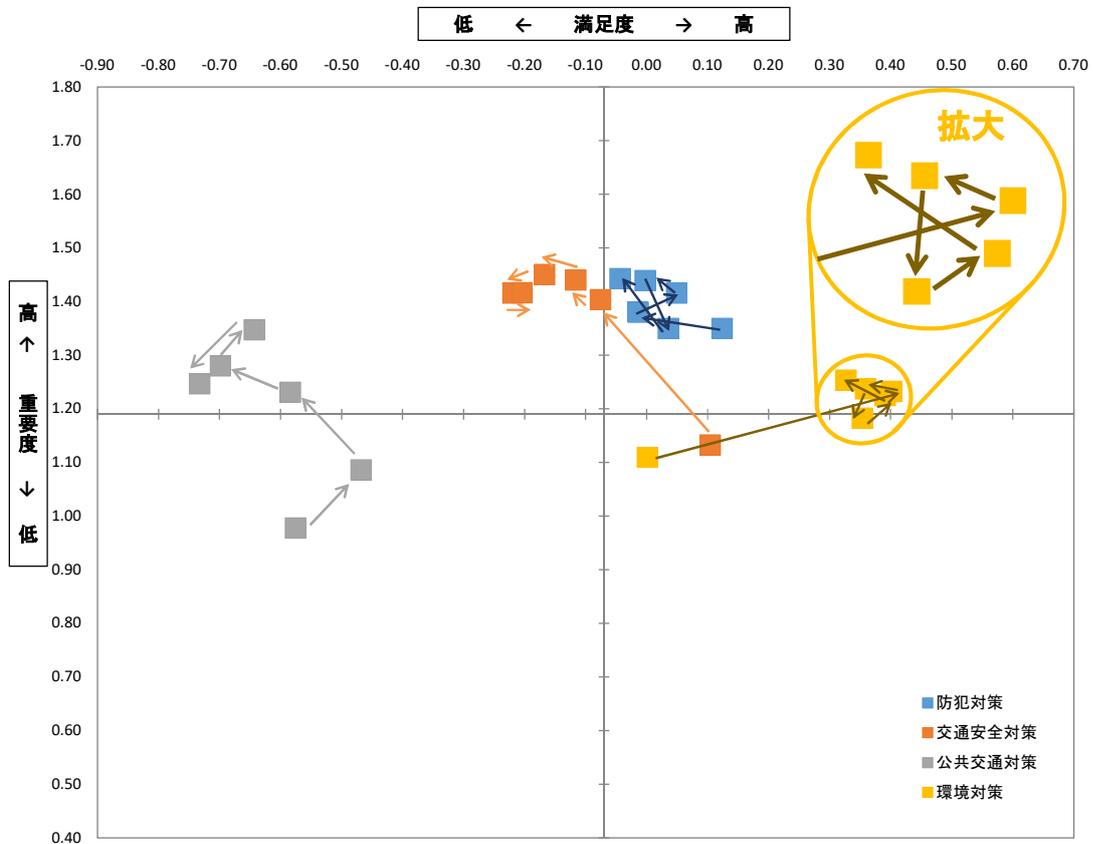
●観光の振興／都市間交流の推進／燕市のファンづくり



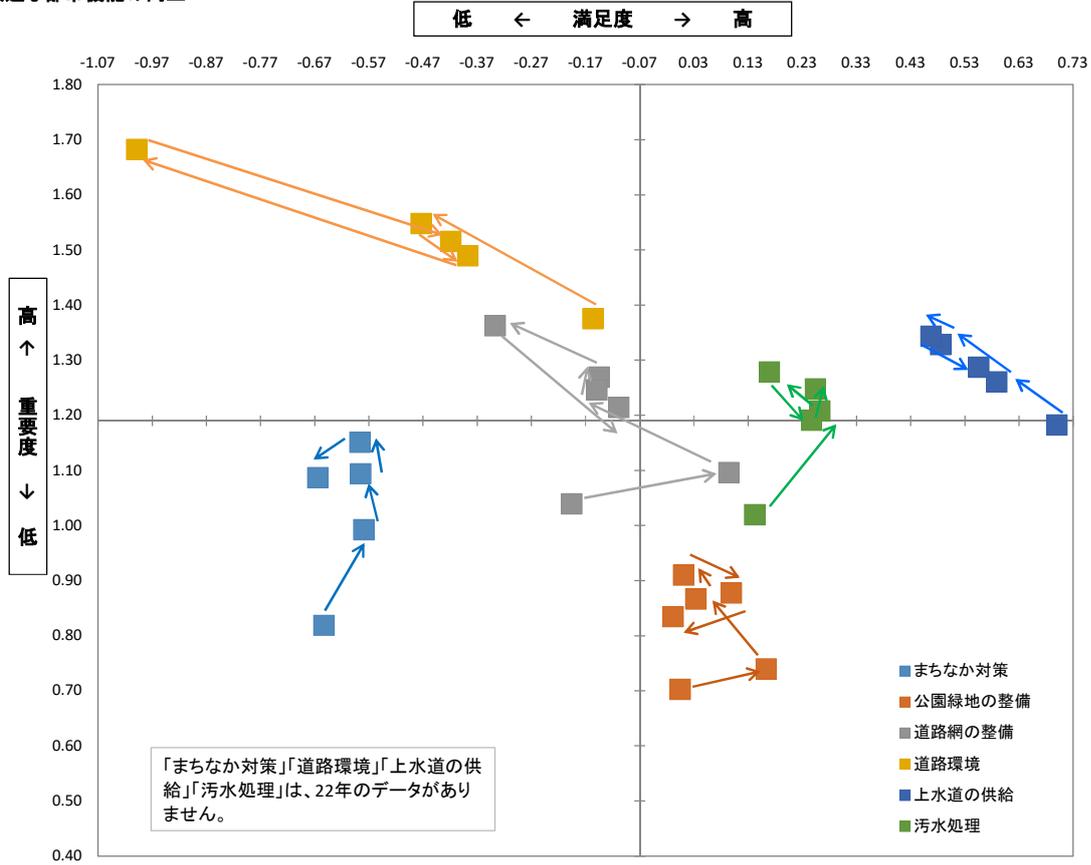
●安全・安心機能の向上①



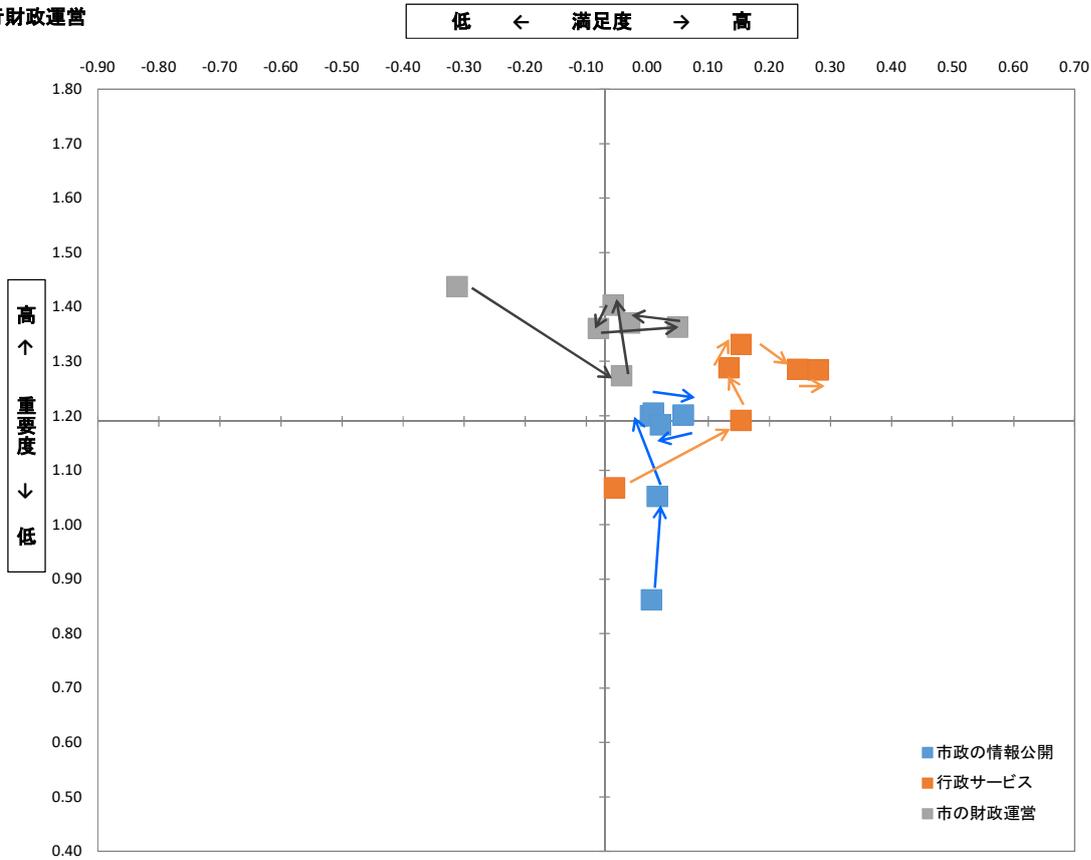
●安全・安心機能の向上②



●快適な都市機能の向上

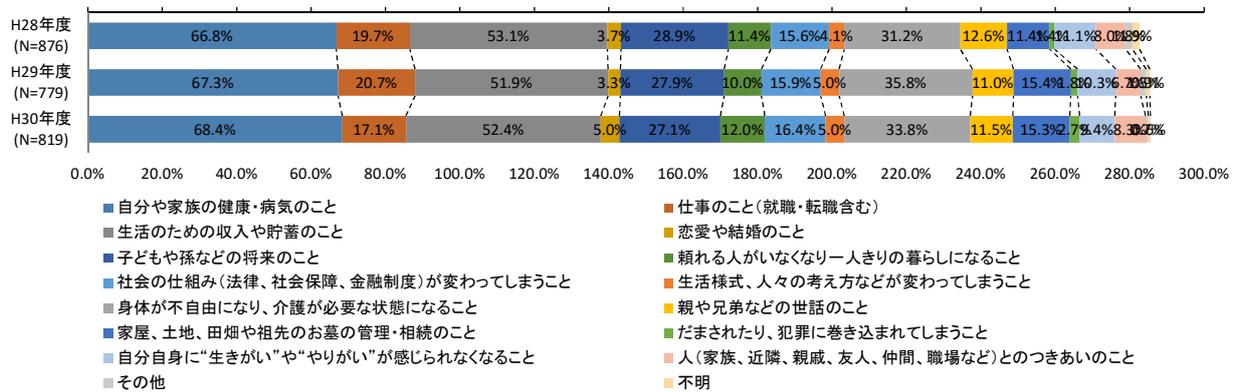


●行財政運営



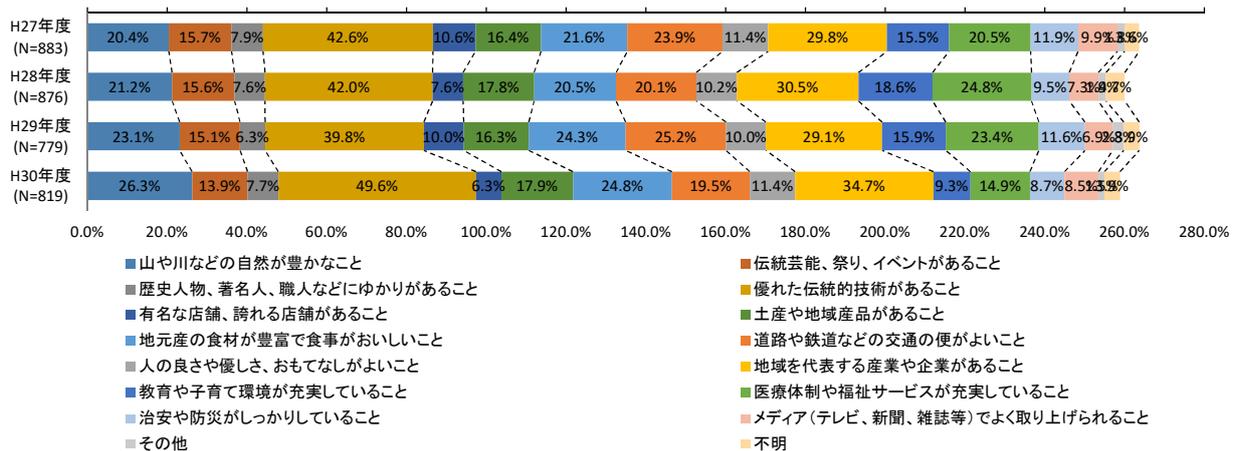
■5年後、10年後の悩みや不安

	H28年度	H29年度	H30年度
自分や家族の健康・病気のこと	66.8%	67.3%	68.4%
仕事のこと(就職・転職含む)	19.7%	20.7%	17.1%
生活のための収入や貯蓄のこと	53.1%	51.9%	52.4%
恋愛や結婚のこと	3.7%	3.3%	5.0%
子どもや孫などの将来のこと	28.9%	27.9%	27.1%
頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること	11.4%	10.0%	12.0%
社会の仕組み(法律、社会保障、金融制度)が変わってしまうこと	15.6%	15.9%	16.4%
生活様式、人々の考え方が変わってしまうこと	4.1%	5.0%	5.0%
身体が不自由になり、介護が必要な状態になること	31.2%	35.8%	33.8%
親や兄弟などの世話のこと	12.6%	11.0%	11.5%
家屋、土地、田畑や祖先のお墓の管理・相続のこと	11.4%	15.4%	15.3%
だまされたり、犯罪に巻き込まれてしまうこと	1.4%	1.8%	2.7%
自分自身に“生きがい”や“やりがい”が感じられなくなること	11.1%	10.3%	9.4%
人(家族、近隣、親戚、友人、仲間、職場など)とのつきあいのこと	8.0%	6.7%	8.3%
その他	1.8%	1.5%	0.7%
不明	1.9%	0.9%	0.6%
合計	282.6%	285.4%	285.6%
N	876	779	819



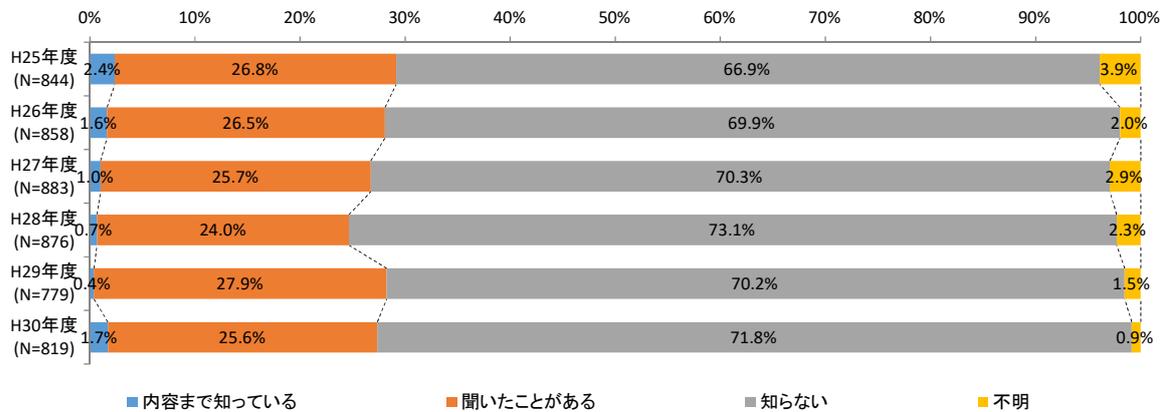
■燕市に住む人や訪れる人を増やすために活かすべき特色や資源、魅力や自慢できること

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
山や川などの自然が豊かなこと	20.4%	21.2%	23.1%	26.3%
伝統芸能、祭り、イベントがあること	15.7%	15.6%	15.1%	13.9%
歴史人物、著名人、職人などにゆかりがあること	7.9%	7.6%	6.3%	7.7%
優れた伝統的技術があること	42.6%	42.0%	39.8%	49.6%
有名な店舗、誇れる店舗があること	10.6%	7.6%	10.0%	6.3%
土産や地域産品があること	16.4%	17.8%	16.3%	17.9%
地元産の食材が豊富で食事がおいしいこと	21.6%	20.5%	24.3%	24.8%
道路や鉄道などの交通の便がよいこと	23.9%	20.1%	25.2%	19.5%
人の良さや優しさ、おもてなしがよいこと	11.4%	10.2%	10.0%	11.4%
地域を代表する産業や企業があること	29.8%	30.5%	29.1%	34.7%
教育や子育て環境が充実していること	15.5%	18.6%	15.9%	9.3%
医療体制や福祉サービスが充実していること	20.5%	24.8%	23.4%	14.9%
治安や防災がしっかりしていること	11.9%	9.5%	11.6%	8.7%
メディア(テレビ、新聞、雑誌等)でよく取り上げられること	9.9%	7.3%	6.9%	8.5%
その他	1.8%	1.9%	2.8%	1.5%
不明	3.6%	4.7%	3.9%	3.9%
合計	263.6%	260.0%	263.7%	258.9%
N	883	876	779	819



■まちづくり基本条例の認知度

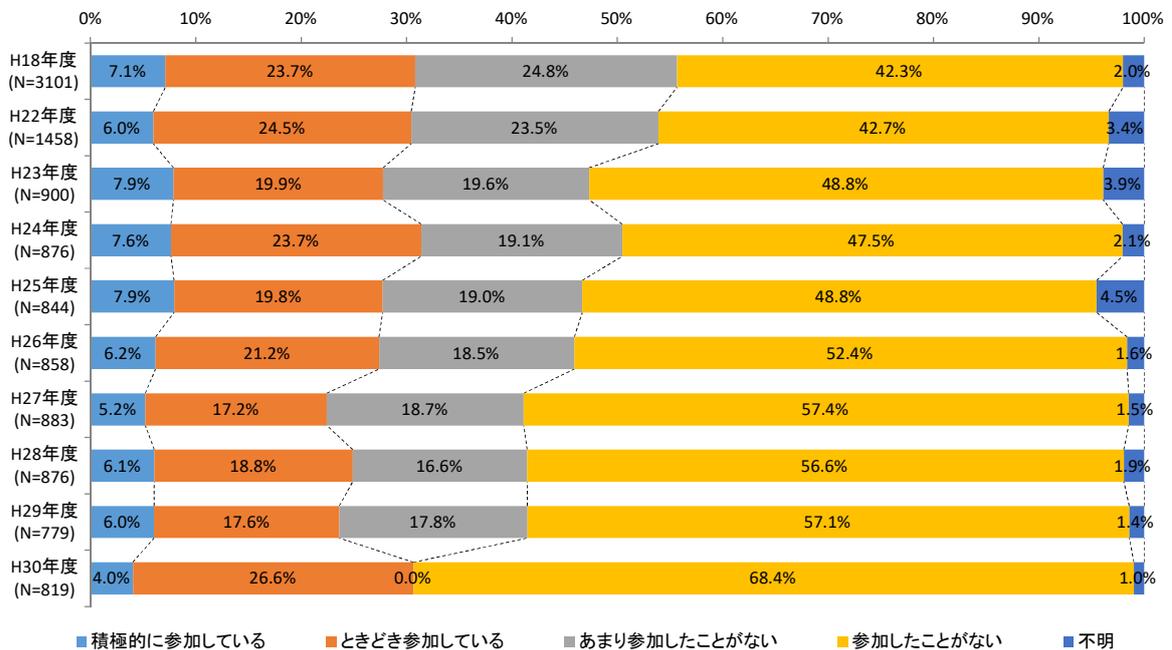
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
内容まで知っている	2.4%	1.6%	1.0%	0.7%	0.4%	1.7%
聞いたことがある	26.8%	26.5%	25.7%	24.0%	27.9%	25.6%
知らない	66.9%	69.9%	70.3%	73.1%	70.2%	71.8%
不明	3.9%	2.0%	2.9%	2.3%	1.5%	0.9%
N	844	858	883	876	779	819



■自治会や各種団体への参加

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
積極的に参加している	7.1%	6.0%	7.9%	7.6%	7.9%	6.2%	5.2%	6.1%	6.0%	4.0%
ときどき参加している	23.7%	24.5%	19.9%	23.7%	19.8%	21.2%	17.2%	18.8%	17.6%	26.6%
あまり参加したことがない	24.8%	23.5%	19.6%	19.1%	19.0%	18.5%	18.7%	16.6%	17.8%	0.0%
参加したことがない	42.3%	42.7%	48.8%	47.5%	48.8%	52.4%	57.4%	56.6%	57.1%	68.4%
不明	2.0%	3.4%	3.9%	2.1%	4.5%	1.6%	1.5%	1.9%	1.4%	1.0%
N	3101	1458	900	876	844	858	883	876	779	819

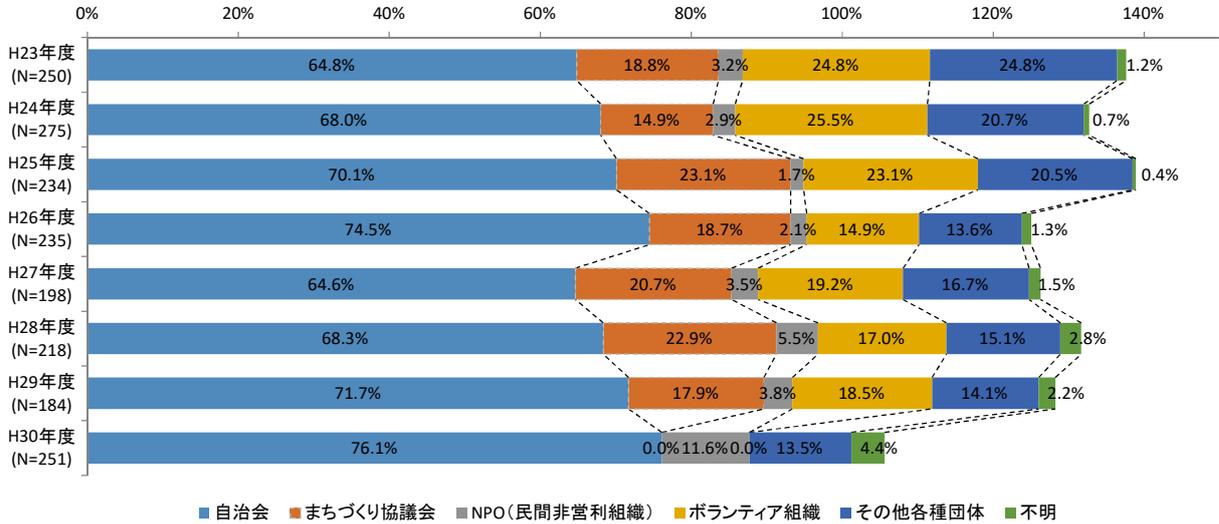
※H30年度より、選択肢より「あまり参加したことがない」を削除



■参加したことがある団体の活動

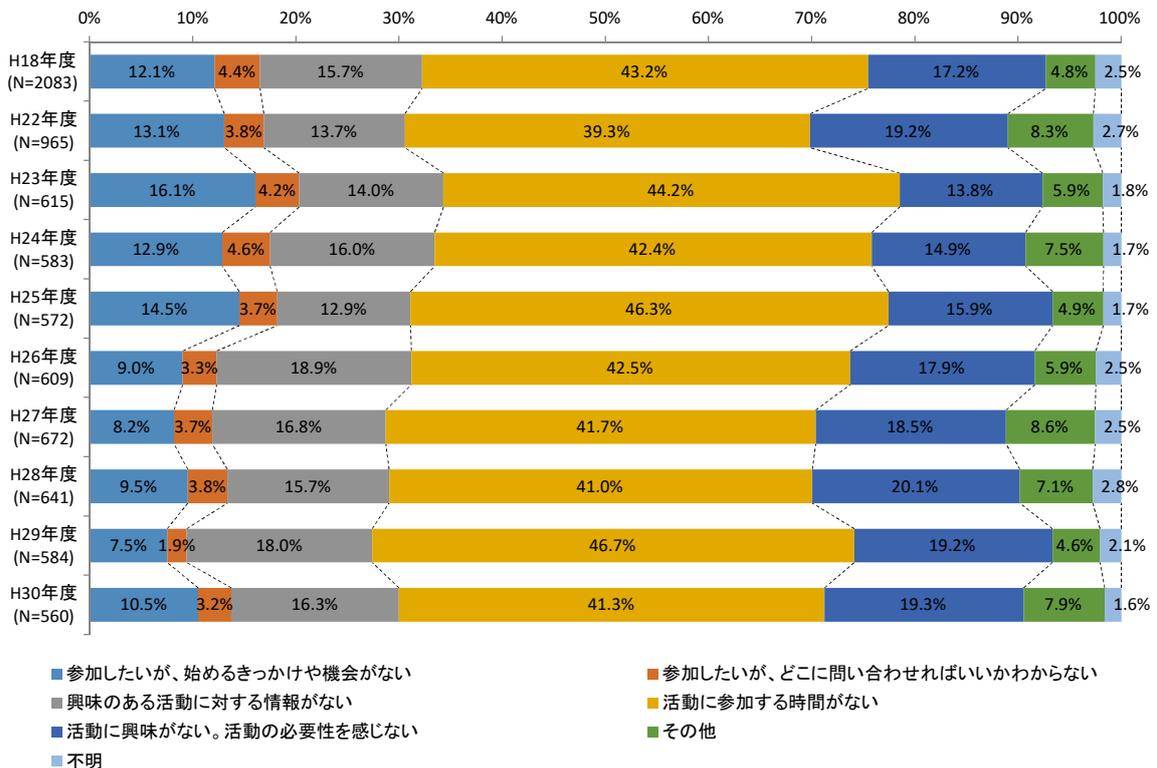
	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
自治会			64.8%	68.0%	70.1%	74.5%	64.6%	68.3%	71.7%	76.1%
まちづくり協議会			18.8%	14.9%	23.1%	18.7%	20.7%	22.9%	17.9%	
NPO(民間非営利組織)			3.2%	2.9%	1.7%	2.1%	3.5%	5.5%	3.8%	
ボランティア組織			24.8%	25.5%	23.1%	14.9%	19.2%	17.0%	18.5%	
その他各種団体			24.8%	20.7%	20.5%	13.6%	16.7%	15.1%	14.1%	
不明			1.2%	0.7%	0.4%	1.3%	1.5%	2.8%	2.2%	4.4%
N			250	275	234	235	198	218	184	251

※H30年度より、「自治会」と「まちづくり協議会」を「自治会・まちづくり協議会」に、「NPO」と「ボランティア組織」を「NPO・ボランティア組織」に変更



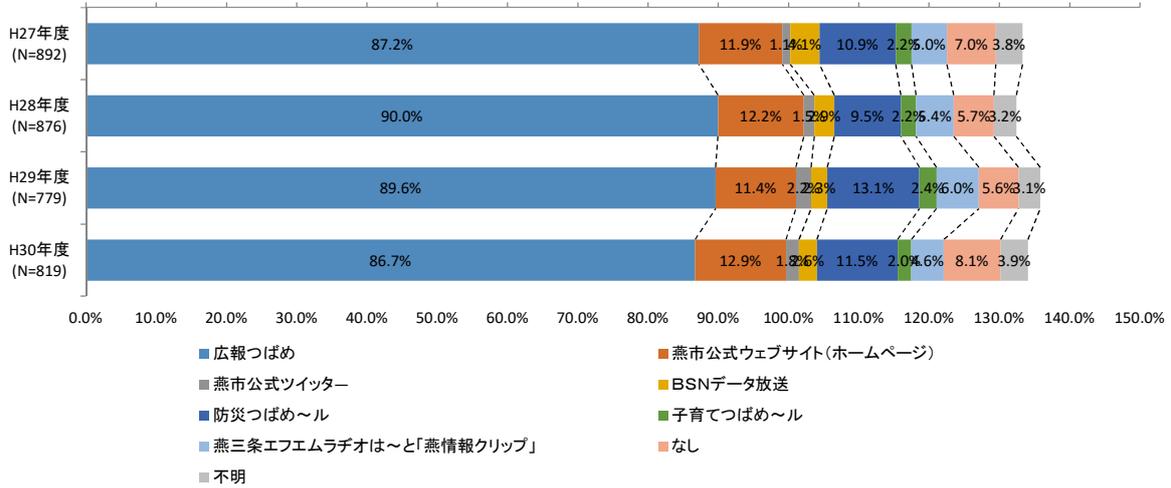
■参加したことが無い理由

	H18年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
参加したいが、始めるきっかけや機会がない	12.1%	13.1%	16.1%	12.9%	14.5%	9.0%	8.2%	9.5%	7.5%	10.5%
参加したいが、どこに問い合わせればいいかわからない	4.4%	3.8%	4.2%	4.6%	3.7%	3.3%	3.7%	3.8%	1.9%	3.2%
興味のある活動に対する情報がない	15.7%	13.7%	14.0%	16.0%	12.9%	18.9%	16.8%	15.7%	18.0%	16.3%
活動に参加する時間がない	43.2%	39.3%	44.2%	42.4%	46.3%	42.5%	41.7%	41.0%	46.7%	41.3%
活動に興味がない。活動の必要性を感じない	17.2%	19.2%	13.8%	14.9%	15.9%	17.9%	18.5%	20.1%	19.2%	19.3%
その他	4.8%	8.3%	5.9%	7.5%	4.9%	5.9%	8.6%	7.1%	4.6%	7.9%
不明	2.5%	2.7%	1.8%	1.7%	1.7%	2.5%	2.5%	2.8%	2.1%	1.6%
N	2083	965	615	583	572	609	672	641	584	560



■利用している市の情報媒体

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
広報つばめ	87.2%	90.0%	89.6%	86.7%
燕市公式ウェブサイト(ホームページ)	11.9%	12.2%	11.4%	12.9%
燕市公式ツイッター	1.1%	1.5%	2.2%	1.8%
BSNデータ放送	4.1%	2.9%	2.3%	2.6%
防災つばめ〜ル	10.9%	9.5%	13.1%	11.5%
子育てつばめ〜ル	2.2%	2.2%	2.4%	2.0%
燕三条エフエムラヂオは〜と「燕情報クリップ」	5.0%	5.4%	6.0%	4.6%
なし	7.0%	5.7%	5.6%	8.1%
不明	3.8%	3.2%	3.1%	3.9%
有効回答数	892	876	779	819



■広報つばめの読みやすさ

	H28年度	H29年度	H30年度
読みやすい	30.6%	28.7%	33.1%
どちらかといえば読みやすい	49.2%	51.6%	49.1%
どちらかといえば読みにくい	10.2%	9.0%	10.9%
読みにくい	3.9%	3.0%	2.1%
不明	6.1%	7.7%	4.8%
有効回答数	788	698	731

